

常用漢字表

前書き

- 1 この表は、法令、公用文書、新聞、雑誌、放送など、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を示すものである。
- 2 この表は、科学、技術、芸術その他の各種専門分野や個々人の表記にまで及ぼそうとするものではない。ただし、専門分野の語であっても、一般の社会生活と密接に関連する語の表記については、この表を参考とすることが望ましい。
- 3 この表は、都道府県名に用いる漢字及びそれに準じる漢字を除き、固有名詞を対象とするものではない。
- 4 この表は、過去の著作や文書における漢字使用を否定するものではない。
- 5 この表の運用に当たっては、個々の事情に応じて適切な考慮を加える余地のあるものである。

表の見方及び使い方

- 1 この表は、「本表」と「付表」とから成る。
- 2 「本表」には、字種 2136 字を掲げ、字体、音訓、語例等を併せ示した。
- 3 漢字欄には、字種と字体を示した。字種は字音によって五十音順に並べた。同音の場合はおおむね字画の少ないものを先にした。字音を取り上げていないものは、字訓によった。
- 4 字体は文字の骨組みであるが、便宜上、明朝体みんのうちの一種を例に用いて「印刷文字における現代の通用字体」を示した。
- 5 「しんにゅう／しょくへん」に係する字のうち、「讠／食」の字形が通用字体である字については、「讠／食」の字形を角括弧に入れて許容字体として併せ示した。当該の字に関して、現に印刷文字として許容字体を用いている場合、通用字体である「讠／食」の字形に改める必要はない。これを「字体の許容」と呼ぶ。
なお、当該の字の備考欄には、角括弧に入れたものが許容字体であることを注記した。また、通用字体の「謎」における「謎」についても「しんにゅう／しょくへん」の扱いに準じるものとして、同様の注記を加えてある。
- 6 丸括弧に入れて添えたものは、いわゆる康熙字典体きである。これは、明治以来行われてきた活字の字体とのつながりを示すために参考として添えたものであるが、著しい差異のないものは省いた。

7 音訓欄には、音訓を示した。字音は片仮名で、字訓は平仮名で示した。1字下げで示した音訓は、特別なものか、又は用法のごく狭いものである。なお、1字下げで示した音訓のうち、備考欄に都道府県名を注記したものは、原則として、当該の都道府県名にのみ用いる音訓であることを示す。

8 派生の関係にあって同じ漢字を使用する習慣のある次のような類は、適宜、音訓欄又は例欄に主なものを示した。

けむる	煙る	わける	分ける
けむり	煙	わかれる	分かれる
けむい	煙い、煙たい、煙たがる	わかる	分かる
		わかっ	分かっ

なお、次のような類は、名詞としてだけ用いるものである。

しるし	印	こおり	氷
-----	---	-----	---

9 例欄には、音訓使用の目安として、その字の当該音訓における使用例の一部を示した。なお、「案じる」「信じる」「力む」等のように字音を動詞として用いることのできるものについては、特に必要な場合を除き、示していない。

10 例欄の語のうち、副詞的用法、接続詞的用法として使うものであって、紛らわしいものには、特に〔副〕、〔接〕という記号を付けた。

11 他の字又は語と結び付く場合に音韻上の変化を起こす次のような類は、音訓欄又は備考欄に示しておいたが、全ての例を尽くしているわけではない。

納得 (ナットク)	格子 (コウシ)
手綱 (タヅナ)	金物 (カナモノ)
音頭 (オンド)	夫婦 (フウフ)
順応 (ジュンノウ)	因縁 (インネン)
春雨 (ハルサメ)	

12 備考欄には、個々の音訓の使用に当たって留意すべき事項などを記した。

(1) 異字同訓のあるものを適宜⇄で示し、また、付表にある語でその漢字を含んでいるものを注記した。

(2) 都道府県名については、音訓欄に「1字下げで掲げた音訓」が、原則として、当該の都道府県名を表記するために掲げた音訓であることを明示する場合に、「埼玉県」「栃木県」のように注記した。

また、都道府県名に用いられる漢字の読み方が、当該の音訓欄にない場合(例えば、大分県の「分」、愛媛県の「愛」「媛」など)、その都道府県の読み方を備考欄に「大分(おおいた)県」「愛媛(えひめ)県」という形で注記した。

したがって、全ての都道府県名を備考欄に掲げるものではない。

(3) 備考欄にある「*」は、「(付) 字体についての解説」「第2 明朝体と筆写の楷書との関係について」の「3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの」の中に参照すべき具体例があることを示す。当該字が具体例として挙げられている場合は、*の後に、[(付) 第2の3 参照]と掲げたが、具体例が挙げられていない場合は[(付) 第2の3 【剥】 参照]のように、同様に考えることができる具体例を併せ掲げた。

また、しんにゅうの字、及びしんにゅうを構成要素として含む字のうち通用字体が「し」で示されている字については、上記「第2 明朝体と筆写の楷書との関係について」の「1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの」の中に「し・し—し」が示され、「し」も筆写では「し」と同様に「し」と書くことから、上の「3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの」の例に準じて、備考欄に「*」を付し、*の後に、[(付) 第2の1 参照]と掲げた。

なお、「*」の付いた字の多くは、昭和56年の制定当初から常用漢字表に入っていた字体とは、「臭⇔嗅」「歩⇔歩」「狭⇔頰」「道⇔遡」「幣⇔蔽」などのように、同じ構成要素を持ちながら、通用字体の扱いに字体上の差異があるものである。

13 「付表」には、いわゆる当て字や熟字訓など、主として1字1字の音訓としては挙げにくいものを語の形で掲げた。便宜上、その読み方を平仮名で示し、五十音順に並べた。

付 情報機器に搭載されている印刷文字字体の関係で、本表の通用字体とは異なる字体（通用字体の「頰・賭・剥」に対する「頰・賭・剥」など）を使用することは差し支えない。

(付) 字体についての解説

第1 明朝体のデザインについて

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。現在、一般に使用されている明朝体の各種書体には、同じ字でありながら、微細なところで形の相違の見られるものがある。しかし、各種の明朝体を検討してみると、それらの相違はいずれも書体設計上の表現の差、すなわちデザインの違いに属する事柄であって、字体の違いではないと考えられるものである。つまり、それらの相違は、字体の上からは全く問題にする必要のないものである。以下に、分類して、その例を示す。

なお、ここに挙げているデザイン差は、現実には異なる字形がそれぞれ使われていて、かつ、その実態に配慮すると、字形の異なりを字体の違いと考えなくてもよいと判断したものである。すなわち、実態として存在する異字形を、デザインの差と、字体の差に分けて整理することがその趣旨であり、明朝体字形を新たに作り出す場合に適用し得るデザイン差の範囲を示したものではない。また、ここに挙げているデザイン差は、おおむね「筆写の楷書字形において見ることができる字形の異なり」と捉えることも可能である。

1 へんとつくり等の組合せ方について

(1) 大小，高低などに関する例

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
硬 硬 吸 吸 頃 頃

(2) はなれているか，接触しているかに関する例

↓ ↓ ↓ ↓
睡 睡 異 ← 異 ← 挨 挨

2 点画の組合せ方について

(1) 長短に関する例

→ 雪 → 雪 → 雪 満 ← 満 ← 無 ← 無 ← 斎 ← 斎 ←

(2) つけるか，はなすかに関する例

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
発 発 備 ← 備 ← 奔 奔 溺 ← 溺 ←
空 空 湿 ← 湿 ← 吹 吹 冥 ← 冥 ←

(3) 接触の位置に関する例

岸 岸 家 家 脈 脈 脈
蚕 蚕 印 印 蓋 蓋

(4) 交わるか, 交わらないかに関する例

聽 聽 非 非 祭 祭
存 存 孝 孝 射 射

(5) その他

芽 芽 芽 夢 夢 夢

3 点画の性質について

(1) 点か, 棒 (画) に関する例

帰 帰 班 班 均 均 麗 麗 蔑 蔑

(2) 傾斜, 方向に関する例

考 考 値 値 望 望

(3) 曲げ方, 折り方に関する例

勢 勢 競 競 頑 頑 頑 災 災

(4) 「筆押さえ」等の有無に関する例

芝 芝 更 更 伎 伎
八 八 八 公 公 公 雲 雲

(5) とめるか, はらうかに関する例

環 環 泰 泰 談 談
医 医 継 継 園 園

(6) とめるか、ぬくかに関する例

耳_← 耳_← 邦_↗ 邦_↗ 街_↗ 街_↗ 餌_← 餌_←

(7) はねるか、とめるかに関する例

四_← 四_← 配_↘ 配_↘ 換_← 換_← 湾_↘ 湾_↘

(8) その他

→次→次 →姿→姿

4 特定の字種に適用されるデザイン差について

「特定の字種に適用されるデザイン差」とは、以下の(1)～(5)それぞれの字種にのみ適用されるデザイン差のことである。したがって、それぞれに具体的な字形として示されているデザイン差を他の字種にまで及ぼすことはできない。

なお、(4)に掲げる「叱」と「叱」は本来別字とされるが、その使用実態から見て、異体の関係にある同字と認めることができる。

(1) 牙_↘・牙_↘・牙_↘

(2) 韓_↘・韓_↘・韓_↘

(3) 茨_↗・茨_↗・茨_↗

(4) 叱_←・叱_←

(5) 枅_←・枅_←

第2 明朝体と筆写の楷書との関係について

常用漢字表では、個々の漢字の字体（文字の骨組み）を、明朝体のうちの一種を例に用いて示した。このことは、これによって筆写の楷書における書き方の習慣を改めようとするものではない。字体としては同じであっても、1, 2に示すように明朝体の字形と筆写の楷書の字形との間には、いろいろな点で違いがある。それらは、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差と見るべきものである。

さらに、印刷文字と手書き文字におけるそれぞれの習慣の相違に基づく表現の差は、3に示すように、字体（文字の骨組み）の違いに及ぶ場合もある。

以下に、分類して、それぞれの例を示す。いずれも「明朝体—手書き（筆写の楷書）」という形で、左側に明朝体、右側にそれを手書きした例を示す。

1 明朝体に特徴的な表現の仕方があるもの

(1) 折り方に関する例

衣 — 衣 去 — 去 玄 — 玄

(2) 点画の組合せ方に関する例

人 — 人 家 — 家 北 — 北

(3) 「筆押さえ」等に関する例

芝 — 芝 史 — 史
入 — 入 八 — 八

(4) 曲直に関する例

子 — 子 手 — 手 了 — 了

(5) その他

讠・讠 — 讠 夂 — 夂 心 — 心

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨 — 雨 雨
無 — 無 無

戸 — 戸 戸 戸

(2) 方向に関する例

風 — 風 風
仰 — 仰 仰

比 — 比 比

糸 — 糸 糸 糸
主 — 主 主 主
年 — 年 年 年

ネ — ネ ネ ネ
言 — 言 言 言

(3) つけるか、はなすかに関する例

又 — 又 又
月 — 月 月
条 — 条 条

文 — 文 文

保 — 保 保

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥 — 奥 奥
角 — 角 角

公 — 公 公
骨 — 骨 骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切 — 切 切 切
酒 — 酒 酒
穴 — 穴 穴 穴

改 — 改 改 改
陸 — 陸 陸 陸

木 — 木 木
糸 — 糸 糸
環 — 環 環

来 — 来 来
牛 — 牛 牛

(6) その他

令 — 令 令
女 — 女 女

外 — 外 外 外
叱 — 叱 叱 叱

3 筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの

以下に示す例で、括弧内は印刷文字である明朝体の字形に倣って書いたものであるが、筆写の楷書ではどちらの字形で書いても差し支えない。なお、括弧内の字形の方が、筆写字形としても一般的な場合がある。

(1) 方向に関する例

淫 — 淫 (淫) 恣 — 恣 (恣)
煎 — 煎 (煎) 嘲 — 嘲 (嘲)
溺 — 溺 (溺) 蔽 — 蔽 (蔽)

(2) 点画の簡略化に関する例

葛 — 葛 (葛) 嗅 — 嗅 (嗅)
僅 — 僅 (僅) 餌 — 餌 (餌)
箋 — 箋 (箋) 填 — 填 (填)
賭 — 賭 (賭) 頰 — 頰 (頰)

(3) その他

惧 - 惧 (惧)

詮 - 詮 (詮)

剥 - 剥 (剥)

稽 - 稽 (稽)

抄 - 抄 (抄)

喻 - 喻 (喻)

本 表

ア－イ

漢 字	音 訓	例	備 考
亜(亞)	ア	亜流, 亜麻, 亜熱帯	
哀	アイ あわれ あわれむ	哀愁, 哀願, 悲哀 哀れ, 哀れな話, 哀れがる 哀れむ, 哀れみ	
挨	アイ	挨拶	
愛	アイ	愛情, 愛読, 恋愛	愛媛(えひめ)県
曖	アイ	曖昧	
悪(悪)	アク オ わるい	悪事, 悪意, 醜悪 悪寒, 好悪, 憎悪 悪い, 悪さ, 悪者	
握	アク にぎる	握手, 握力, 掌握 握る, 握り, 一握り	
圧(壓)	アツ	圧力, 圧迫, 気圧	
扱	あつかう	扱う, 扱い, 客扱い	
宛	あてる	宛てる, 宛先	⇔ 当てる, 充てる
嵐	あらし	嵐, 砂嵐	
安	アン やすい	安全, 安価, 不安 安い, 安らかだ	
案	アン	案文, 案内, 新案	
暗	アン くらい	暗示, 暗愚, 明暗 暗い, 暗がり	
以	イ	以上, 以内, 以後	
衣	イ ころも	衣服, 衣食住, 作業衣 衣, 羽衣	浴衣(ゆかた)

位	イ くらい	位置, 第一位, 各位 位, 位取り, 位する	「三位一体」, 「従三位」は, 「サン ミイッタイ」, 「ジュサンミ」。
圀(圍)	イ かこむ かこう	圀碁, 包圀, 範圍 圀む, 圀み 圀う, 圀い	
医(醫)	イ	医学, 医療, 名医	
依	イ エ	依頼, 依拠, 依然 帰依	
委	イ ゆだねる	委任, 委員, 委細 委ねる	
威	イ	威力, 威圧, 示威	
為(爲)	イ	為政者, 行為, 作為	為替 (かわせ)
畏	イ おそれる	畏敬, 畏怖 畏れる, 畏れ	⇔ 恐れる
胃	イ	胃腸, 胃酸, 胃弱	
尉	イ	尉官, 一尉, 大尉	
異	イ こと	異論, 異同, 奇異 異にする, 異なる	
移	イ うつる うつす	移転, 移民, 推移 移る, 移り変わり 移す	
萎	イ なえる	萎縮 萎える	
偉	イ えらい	偉大, 偉人, 偉観 偉い, 偉ぶる	
椅	イ	椅子	
彙	イ	語彙	* [(付) 第2の3【剝】参照]
意	イ	意見, 意味, 決意	意気地 (いくじ)

違	イ ちがう ちがえる	違反，違法，相違 違う，違い，間違う 違える，間違える，間違える	
維	イ	維持，維新，繊維	
慰	イ なぐさめる なぐさむ	慰安，慰問，慰労 慰める，慰め 慰む，慰み	
遺	イ ユイ	遺棄，遺産，遺失 遺言	「遺言」は，「イゴン」とも。
緯	イ	緯度，北緯，経緯	
域	イキ	域内，地域，区域	
育	イク そだつ そだてる はぐくむ	育児，教育，発育 育つ，育ち 育てる，育て親 育む	
一	イチ イツ ひと ひとつ	一度，一座，第一 一般，同一，統一 一息，一筋，一月目 一つ	一日（ついたち） 一人（ひとり）
壹（壹）	イチ	壹万円	
逸（逸）	イツ	逸話，逸品，逸する	
茨	いばら		茨城県
芋	いも	芋，里芋，焼き芋	
引	イン ひく ひける	引力，引退，索引 引く，字引 引ける	⇔ 弾く
印	イン しるし	印刷，印象，調印 印，目印，矢印	
因	イン よる	因果，原因，要因 因る，……に因る	

咽	イン	咽喉	
姻	イン	姻族, 婚姻	
員	イン	満員, 定員, 社員	
院	イン	院内, 議院, 病院	
淫	イン みだら	淫行, 淫乱 淫らだ	* [(付) 第2の3参照]
陰	イン かげ かげる	陰気, 陰性, 光陰 陰, 日陰 陰る, 陰り	⇒ 影
飲	イン のむ	飲料, 飲食, 痛飲 飲む, 飲み水	
隠(隠)	イン かくす かくれる	隠居, 隠忍, 隠語 隠す 隠れる, 雲隠れ	
韻	イン	韻律, 韻文, 音韻	
右	ウ ユウ みぎ	右岸, 右折, 右派 左右, 座右 右, 右手	
宇	ウ	宇宙, 気宇, 堂宇	
羽	ウ は はね	羽毛, 羽化, 羽翼 白羽の矢, 一羽(わ), 三羽(ば), 六羽(ば) 羽, 羽飾り	「羽(は)」は、前に来る音によっ て「わ」、「ば」、「ぱ」になる。
雨	ウ あめ あま	雨量, 降雨, 梅雨 雨, 大雨 雨雲, 雨戸, 雨具	五月雨(さみだれ) 時雨(しぐれ) 梅雨(つゆ) 「春雨」、「小雨」、「霧雨」などは, 「はるさめ」、「こさめ」、「きりさめ」。
唄	うた	小唄, 長唄	⇒ 歌
鬱	ウツ	憂鬱	

畝	うね	畝, 畝間, 畝織	
浦	うら	浦, 津々浦々	
運	ウン はこぶ	運動, 運命, 海運 運ぶ	
雲	ウン くも	雲海, 風雲, 積乱雲 雲, 雲隠れ	
永	エイ ながい	永続, 永久, 永遠 永い, 日永	⇨ 長い
泳	エイ およぐ	泳法, 水泳, 背泳 泳ぐ, 泳ぎ	
英	エイ	英雄, 英断, 俊英	
映	エイ うつる うつす はえる	映画, 上映, 反映 映る, 映り 映す 映える, 夕映え	⇨ 写る ⇨ 写す ⇨ 栄える
栄(榮)	エイ さかえる はえ はえる	栄枯, 栄養, 繁栄 栄える, 栄え 栄えある, 見栄え, 出来栄え 栄える	⇨ 映え ⇨ 映える
営(營)	エイ いとなむ	営業, 経営, 陣営 営む, 営み	
詠	エイ よむ	詠嘆, 詠草, 朗詠 詠む	⇨ 読む
影	エイ かげ	影響, 陰影, 撮影 影, 影絵, 人影	⇨ 陰
鋭	エイ するどい	鋭利, 鋭敏, 精鋭 鋭い, 鋭さ	
衛(衛)	エイ	衛生, 護衛, 守衛	
易	エキ イ やさしい	易者, 貿易, 不易 容易, 安易, 難易 易しい, 易しさ	

疫	エキ ヤク	疫病, 悪疫, 防疫 疫病神	
益	エキ ヤク	有益, 利益, 益する 御利益	
液	エキ	液体, 液状, 血液	
駅(驛)	エキ	駅長, 駅伝, 貨物駅	
悦	エツ	悦楽, 喜悅	
越	エツ こす こえる	越境, 超越, 優越 越す, 年越し 越える, 山越え	⇒ 超す ⇒ 超える
謁(謁)	エツ	謁見, 拝謁, 謁する	
閱	エツ	閱覧, 閱歴, 校閱	
円(圓)	エン まるい	円卓, 円熟, 一円 円い, 円さ, 円み	⇒ 丸い
延	エン のびる のべる のばす	延長, 延期, 遅延 延びる 延べる, 延べ 延ばす	⇒ 伸びる ⇒ 伸べる ⇒ 伸ばす
沿	エン そう	沿海, 沿線, 沿革 沿う, 川沿い	⇒ 添う
炎	エン ほのお	炎上, 炎天, 火炎 炎	
怨	エン オン	怨恨 怨念	
宴	エン	宴会, 宴席, 酒宴	
媛	エン	才媛	愛媛(えひめ)県
援	エン	援助, 応援, 声援	

園	エン その	園芸, 公園, 楽園 学びの園, 花園	
煙	エン けむる けむり けむい	煙突, 煙霧, 喫煙 煙る 煙 煙い, 煙たい, 煙たがる	
猿	エン さる	野猿, 類人猿, 犬猿の仲 猿	
遠	エン オン とおい	遠近, 永遠, 敬遠 久遠 遠い, 遠出, 遠ざかる	
鉛	エン なまり	鉛筆, 垂鉛, 黒鉛 鉛, 鉛色	
塩(鹽)	エン しお	塩分, 塩酸, 食塩 塩, 塩辛い	
演	エン	演技, 演奏, 講演	
縁(緣)	エン ふち	縁故, 縁日, 血縁 縁, 縁取り, 額縁	「因縁」は, 「インネン」。
艶(艶)	エン つや	妖艶 艶, 色艶	
汚	オ けがす けがれる けがらわしい よごす よごれる きたない	汚点, 汚物, 汚名 汚す 汚れる, 汚れ 汚らわしい 汚す, 口汚し 汚れる, 汚れ, 汚れ物 汚い, 汚らしい	
王	オウ	王子, 帝王	「親王」, 「勤王」などは, 「シンノウ」, 「キンノウ」。
凹	オウ	凹凸, 凹面鏡, 凹レンズ	凸凹 (でこぼこ)
央	オウ	中央	

応(應)	オウ こたえる	応答, 応用, 呼応 応える	「反応」, 「順応」などは, 「ハンノウ」, 「ジュンノウ」。 ⇒ 答える
往	オウ	往復, 往来, 既往症	
押	オウ おす おさえる	押収, 押印, 押韻 押す, 押し 押さえる, 押さえ	⇒ 推す ⇒ 抑える
旺	オウ	旺盛	
欧(歐)	オウ	欧文, 西欧, 渡欧	
殴(毆)	オウ なぐる	殴打 殴る	
桜(櫻)	オウ さくら	桜花, 観桜 桜, 桜色, 葉桜	
翁	オウ	老翁	
奥(奥)	オウ おく	奥義, 深奥 奥, 奥底, 奥さん	「奥義」は, 「おくギ」とも。
横(横)	オウ よこ	横断, 横領, 専横 横, 横顔, 横たわる	
岡	おか		岡山県, 静岡県, 福岡県
屋	オク や	屋上, 屋外, 家屋 屋根, 花屋, 楽屋	母屋 (おもや) 部屋 (へや) ⇒ 家
億	オク	億万, 一億	
憶	オク	記憶, 追憶	
臆	オク	臆説, 臆測, 臆病	「臆説」, 「臆測」は, 「憶説」, 「憶測」とも書く。
虞	おそれ	虞	

乙	オツ	乙種, 甲乙	乙女 (おとめ)
俺	おれ	俺	
卸	おろす おろし	卸す 卸, 卸商	⇨ 下ろす, 降ろす
音	オン イン おと ね	音楽, 発音, 騒音 福音, 母音 音, 物音 音, 音色	「観音」は, 「カンノン」。
恩	オン	恩情, 恩人, 謝恩	
温 (溫)	オン あたたか あたたかい あたたまる あたためる	温暖, 温厚, 気温 温かだ 温かい 温まる 温める	⇨ 暖か ⇨ 暖かい ⇨ 暖まる ⇨ 暖める
穩 (穩)	オン おだやか	穩和, 穩当, 平穩 穩やかだ	「安穩」は, 「アンノン」。
下	カ ゲ した しも もと さげる さがる くだる くだす くださる おろす おりる	下流, 下降, 落下 下水, 下車, 上下 下, 下見 下, 川下 下, 足下 下げる 下がる 下る, 下り 下す 下さる 下ろす, 書き下ろす 下りる	下手 (へた) ⇨ 元, 本, 基 ⇨ 提げる ⇨ 卸す, 降ろす ⇨ 降りる
化	カ ケ ばける ばかす	化石, 化学, 文化 化粧, 化身, 権化 化ける, お化け 化かす	
火	カ ひ ほ	火災, 灯火, 発火 火, 火花, 炭火 火影	⇨ 灯

加	カ くわえる くわわる	加入，加減，追加 加える 加わる	
可	カ	可否，可能，許可	
仮(假)	カ ケ かり	仮面，仮定，仮装 仮病 仮の住まい，仮に，仮処分	仮名 (かな)
何	カ なに なん	幾何学 何，何者，何事 何本，何十，何点	
花	カ はな	花卉，花壇，落花 花，花火，草花	⇨ 華
佳	カ	佳作，佳人，絶佳	
価(價)	カ あたい	価値，価格，評価 価	⇨ 値
果	カ はたす はてる はて	果実，果敢，結果 果たす，果たして〔副〕 果てる 果て	果物 (くだもの)
河	カ かわ	河川，河口，運河 河	河岸 (かし) 河原 (かわら) ⇨ 川
苛	カ	苛酷，苛烈	
科	カ	科学，教科，罪科	
架	カ かける かかる	架橋，架空，書架 架ける 架かる	⇨ 掛ける，懸ける，賭ける ⇨ 掛かる，懸かる
夏	カ ゲ なつ	夏季，初夏，盛夏 夏至 夏，夏服，真夏	

家	カ ケ いえ や	家屋，家庭，作家 家来，本家，分家 家，家柄，家元 家主，借家	母家（おもや） ⇨ 屋
荷	カ に	出荷，入荷 荷，荷物，初荷	
華	カ ケ はな	華美，繁華，栄華 香華，散華 華やかだ，華やぐ，華々しい	⇨ 花
菓	カ	菓子，製菓，茶菓	
貨	カ	貨物，貨幣，通貨	
渦	カ うず	渦中 渦，渦潮，渦巻く	
過	カ すぎる すごす あやまつ あやまち	過度，過失，通過 過ぎる，昼過ぎ 過ごす 過つ 過ち	
嫁	カ よめ とつぐ	再嫁，転嫁，嫁する 嫁，花嫁 嫁ぐ，嫁ぎ先	
暇	カ ひま	余暇，休暇，寸暇 暇，暇な時	
禍（禍）	カ	禍福，禍根，災禍	
靴	カ くつ	製靴 靴，靴下，革靴	
寡	カ	寡黙，寡婦，多寡	
歌	カ うた うたう	歌曲，唱歌，短歌 歌 歌う	⇨ 唄 ⇨ 謡う

箇	カ	箇条, 箇所	
稼	カ かせぐ	稼業, 稼働 稼ぐ, 稼ぎ	
課	カ	課, 日課, 課する	
蚊	か	蚊, 蚊柱, やぶ蚊	蚊帳 (かや)
牙	ガ ゲ きば	牙城, 齒牙 象牙 牙	
瓦	ガ かわら	瓦解 瓦, 瓦屋根	
我	ガ われ わ	我流, 彼我, 自我 我, 我々, 我ら 我が国	
画(畫)	ガ カク	画家, 図画, 映画 画期的, 計画, 区画	
芽	ガ め	発芽, 麦芽, 肉芽 芽, 芽生える, 新芽	
賀	ガ	賀状, 祝賀, 賀する	
雅	ガ	雅趣, 優雅, 風雅	
餓	ガ	餓死, 餓鬼, 飢餓	
介	カイ	介入, 紹介, 介する	
回	カイ エ まわる まわす	回答, 転回, 次回 回向 回る, 回り, 回り道 回す, 手回し	⇔ 周り
灰	カイ はい	灰白色, 石灰 灰, 灰色, 火山灰	

会(會)	カイ エ あう	会話, 会計, 社会 会釈, 会得, 法会 会う	⇨ 合う, 遭う
快	カイ こころよい	快活, 快晴, 明快 快い	
戒	カイ いましめる	戒心, 戒律, 警戒 戒める, 戒め	
改	カイ あらためる あらたまる	改造, 改革, 更改 改める, 改めて〔副〕 改まる	
怪	カイ あやしい あやしむ	怪談, 怪物, 奇怪 怪しい, 怪しげだ 怪しむ	⇨ 妖しい
拐	カイ	拐帯, 誘拐	
悔(悔)	カイ くいる くやむ くやしい	悔恨, 後悔 悔いる, 悔い 悔やむ, お悔やみ 悔しい, 悔しがる	
海(海)	カイ うみ	海岸, 海水浴, 航海 海, 海鳴り	海女・海士(あま) 海原(うなばら)
界	カイ	境界, 限界, 世界	
皆	カイ みな	皆無, 皆勤, 皆出席 皆, 皆さん	
械	カイ	機械	
絵(繪)	カイ エ	絵画 絵本, 絵図, 口絵	
開	カイ ひらく ひらける あく あける	開始, 開拓, 展開 開く, 川開き 開ける 開く 開ける, 開けたて	⇨ 空く, 明く ⇨ 空ける, 明ける

階	カイ	階段, 階級, 地階	
塊	カイ かたまり	塊状, 山塊 塊	
楷	カイ	楷書	
解	カイ ゲ とく とかす とける	解決, 解禁, 理解 解脱, 解熱剤, 解毒剤 解く 解かす 解ける	⇒ 溶く ⇒ 溶かす ⇒ 溶ける
潰	カイ つぶす つぶれる	潰瘍 潰す 潰れる	
壊(壊)	カイ こわす こわれる	壊滅, 破壊, 決壊 壊す 壊れる	
懐(懐)	カイ ふところ なつかしい なつかしむ なつく なつける	懐中, 懐古, 述懐 懐, 懐手, 内懐 懐かしい 懐かしむ 懐く 懐ける	
諧	カイ	俳諧	
貝	かい	貝, 貝細工, ほら貝	
外	ガイ ゲ そと ほか はずす はずれる	外出, 海外, 除外 外科, 外題, 外道 外, 外囲い 外, その外 外す, 踏み外す 外れる, 町外れ	⇒ 他
劾	ガイ	弾劾	
害	ガイ	害悪, 被害, 損害	

崖	ガイ がけ	断崖 崖下	
涯	ガイ	生涯	
街	ガイ カイ まち	街頭，市街，商店街 街道 街，街角	⇔ 町
慨(慨)	ガイ	慨嘆，憤慨，感慨	
蓋	ガイ ふた	頭蓋骨 蓋，火蓋	
該	ガイ	該当，該博，当該	
概(概)	ガイ	概念，大概，概して	
骸	ガイ	形骸化，死骸	
垣	かき	垣，垣根	
柿	かき	柿	
各	カク おのおの	各自，各種，各位 各	「各々」とも書く。
角	カク かど つの	角度，三角，頭角 角，街角，四つ角 角，角笛	
拡(擴)	カク	拡大，拡張，拡声器	
革	カク かわ	革新，改革，皮革 革，革靴	⇔ 皮
格	カク コウ	格式，規格，性格 格子	
核	カク	核心，核反応，結核	
殼(殼)	カク から	甲殼，地殼 殼，貝殼	

郭	カク	城郭, 外郭, 輪郭	
覚(覺)	カク おぼえる さます さめる	覚悟, 知覚, 発覚 覚える, 覚え 覚ます, 目覚まし 覚める, 目覚め	
較	カク	比較	
隔	カク へだてる へだたる	隔離, 隔月, 間隔 隔てる, 隔て 隔たる, 隔たり	
閣	カク	閣議, 閣僚, 内閣	
確	カク たしか たしかめる	確定, 確認, 正確 確かだ, 確かさ 確かめる	
獲	カク える	獲得, 捕獲, 漁獲高 獲る, 獲物	⇔ 得る
嚇	カク	威嚇	
穫	カク	収穫	
学(學)	ガク まなぶ	学習, 科学, 大学 学ぶ	
岳(嶽)	ガク たけ	岳父, 山岳 〇〇岳	
楽(樂)	ガク ラク たのしい たのしむ	楽隊, 楽器, 音楽 楽園, 快樂, 娯楽 楽しい, 楽しさ, 楽しげだ 楽しむ	神楽 (かぐら)
額	ガク ひたい	額縁, 金額, 前額部 額	
顎	ガク あご	顎関節 顎	

掛	かける かかる かかり	掛ける 掛かる 掛	⇨ 懸ける, 架ける, 賭ける ⇨ 係る, 懸かる, 架かる ⇨ 係
瀉	かた	干瀉, ○○瀉	
括	カツ	括弧, 一括, 包括	
活	カツ	活動, 活力, 生活	
喝(喝)	カツ	喝破, 一喝, 恐喝	
渴(渴)	カツ かわく	渴望, 渴水 渴く, 渴き	⇨ 乾く
割	カツ わる わり われる さく	割愛, 割拠, 分割 割る 割がいい, 割合, 割に, 五割 割れる, ひび割れ 割く	⇨ 裂く
葛	カツ くず	葛藤 葛, 葛湯	* [(付) 第2の3参照]
滑	カツ コツ すべる なめらか	滑走, 滑降, 円滑 滑稽 滑る, 滑り 滑らかだ	
褐(褐)	カツ	褐色, 茶褐色	
轄	カツ	管轄, 所轄, 直轄	
且	かつ	且つ	
株	かぶ	株, 株式	
釜	かま	釜	
鎌	かま	鎌, 鎌倉時代	
刈	かる	刈る, 刈り入れ	

カン

干	カン ほす ひる	干渉, 干潮, 若干 干す, 干し物 干上がる, 干物, 潮干狩り	
刊	カン	刊行, 発刊, 週刊	
甘	カン あまい あまえる あまやかす	甘言, 甘受, 甘味料 甘い, 甘み 甘える 甘やかす	
汗	カン あせ	汗顔, 発汗 汗, 汗ばむ	
缶(罐)	カン	缶, 缶詰, 製缶	
完	カン	完全, 完成, 未完	
肝	カン きも	肝臓, 肝胆, 肝要 肝, 肝っ玉	
官	カン	官庁, 官能, 教官	
冠	カン かんむり	冠詞, 王冠, 栄冠 冠	
卷(卷)	カン まく まき	巻頭, 圧巻, 一卷 巻く, 巻き貝 巻の一	
看	カン	看護, 看破, 看板	
陥(陷)	カン おちいる おとしいれる	陥落, 陥没, 欠陥 陥る 陥れる	
乾	カン かわく かわかす	乾燥, 乾杯, 乾電池 乾く 乾かす	⇒ 渴く
勘	カン	勘弁, 勘当	
患	カン わずらう	患者, 疾患 患う, 長患い	⇒ 煩う

貫	カン つらぬく	貫通，縦貫，尺貫法 貫く	
寒	カン さむい	寒暑，寒村，厳寒 寒い，寒がる，寒空	
喚	カン	喚問，召喚，叫喚	
堪	カン たえる	堪忍，堪能 堪える	「堪能」は，「タンノウ」とも。 ⇨ 耐える
換	カン かえる かわる	換気，換算，交換 換える 換わる	⇨ 代える，替える，変える ⇨ 代わる，替わる，変わる
敢	カン	敢然，果敢，勇敢	
棺	カン	棺おけ，石棺，出棺	
款	カン	定款，借款，落款	
間	カン ケン あいだ ま	間隔，中間，時間 世間，人間 間，間柄 間，間違う，客間	
閑	カン	閑静，閑却，繁閑	
勸(勸)	カン すすめる	勧誘，勧奨，勧告 勧める，勧め	⇨ 進める，薦める
寛(寛)	カン	寛大，寛容，寛厳	
幹	カン みき	幹線，幹事，根幹 幹	
感	カン	感心，感覚，直感	
漢(漢)	カン	漢字，漢語，門外漢	
慣	カン なれる ならす	慣例，慣性，習慣 慣れる，慣れ 慣らす	

管	カン くだ	管理, 管制, 鉄管 管	
関(關)	カン せき かかわる	関節, 関係, 関する 関, 関取, 関の山 関わる, 関わり	
歓(歡)	カン	歓迎, 歓声, 交歓	
監	カン	監視, 監督, 総監	
緩	カン ゆるい ゆるやか ゆるむ ゆるめる	緩和, 緩慢, 緩急 緩い 緩やかだ 緩む, 緩み 緩める	
憾	カン	遺憾	
還	カン	還元, 生還, 返還	
館	カン やかた	館内, 旅館, 図書館 館	
環	カン	環状, 環境, 循環	
簡	カン	簡単, 簡易, 書簡	
観(觀)	カン	観察, 客観, 壮観	
韓	カン	韓国	
艦	カン	艦船, 艦隊, 軍艦	
鑑	カン かんがみる	鑑賞, 鑑定, 年鑑 鑑みる	
丸	ガン まる まるい まるめる	丸薬, 弾丸, 砲丸 丸, 丸太, 丸洗い 丸い, 丸み, 丸さ 丸める	⇒ 円い

含	ガン ふくむ ふくめる	含有, 含蓄, 包含 含む, 含み 含める	
岸	ガン きし	岸壁, 対岸, 彼岸 岸, 向こう岸	河岸 (かし)
岩	ガン いわ	岩石, 岩塩, 火成岩 岩, 岩場	
玩	ガン	玩具, 愛玩	
眼	ガン ゲン まなこ	眼球, 眼力, 主眼 開眼 眼, どんぐり眼, 血眼	眼鏡 (めがね)
頑	ガン	頑強, 頑健, 頑固	
顔	ガン かお	顔面, 童顔, 厚顔 顔, 横顔, したり顔	笑顔 (えがお)
願	ガン ねがう	願望, 祈願, 志願 願う, 願い, 願わしい	
企	キ くわだてる	企画, 企図, 企業 企てる, 企て	
伎	キ	歌舞伎	
危	キ あぶない あやうい あやぶむ	危険, 危害, 安危 危ない, 危ながる 危うい, 危うく 危ぶむ	
机	キ つくえ	机上, 机辺 机	
気(氣)	キ ケ	気体, 気候, 元気 気配, 気色ばむ, 火の気	意気地 (いくじ) 浮気 (うわき)
岐	キ	岐路, 分岐, 多岐	岐阜 (ぎふ) 県
希	キ	希望, 希少, 希薄	

忌	キ いむ いまわしい	忌避, 忌中, 禁忌 忌む 忌まわしい	
汽	キ	汽車, 汽船, 汽笛	
奇	キ	奇襲, 奇数, 珍奇	数奇屋 (すきや)
祈 (祈)	キ いのる	祈願, 祈念 祈る, 祈り	
季	キ	季節, 四季, 雨季	
紀	キ	紀行, 紀元, 風紀	
軌	キ	軌道, 広軌, 常軌	
既 (既)	キ すでに	既成, 既婚, 既往症 既に	
記	キ しるす	記入, 記号, 伝記 記す	
起	キ おきる おこる おこす	起立, 起源, 奮起 起きる, 早起き 起こる 起こす	⇔ 興る ⇔ 興す
飢	キ うえる	飢餓 飢える, 飢え	
鬼	キ おに	鬼神, 鬼才, 餓鬼 鬼, 鬼ごっこ, 赤鬼	
帰 (歸)	キ かえる かえす	帰還, 帰納, 復帰 帰る, 帰り 帰す	⇔ 返る ⇔ 返す
基	キ もと もとい	基礎, 基準, 基地 基, 基づく 基	⇔ 下, 元, 本

寄	キ よる よせる	寄宿, 寄贈, 寄港 寄る, 近寄る, 身寄り 寄せる, 人寄せ	数寄屋 (すきや) 最寄り (もより) 寄席 (よせ)
規	キ	規則, 規律, 定規	
亀 (龜)	キ かめ	亀裂 亀	
喜	キ よろこぶ	喜劇, 悲喜, 歓喜 喜ぶ, 喜び, 喜ばしい	
幾	キ いく	幾何学 幾つ, 幾ら, 幾日	
揮	キ	揮発油, 指揮, 発揮	
期	キ ゴ	期間, 期待, 予期 最期, この期に及んで	
棋	キ	棋士, 棋譜, 将棋	
貴	キ たつとい とうとい たつとぶ とうとぶ	貴重, 貴下, 騰貴 貴い 貴い 貴ぶ 貴ぶ	⇨ 尊い ⇨ 尊い ⇨ 尊ぶ ⇨ 尊ぶ
棄	キ	棄権, 放棄, 遺棄	
毀	キ	毀損, 毀誉	
旗	キ はた	旗手, 旗艦, 国旗 旗, 旗色, 手旗	
器 (器)	キ うつわ	器量, 器用, 陶器 器	
畿	キ	畿内, 近畿	
輝	キ かがやく	輝石, 光輝 輝く, 輝き, 輝かしい	

機	キ はた	機械, 機会, 危機 機, 機織り	
騎	キ	騎士, 騎馬, 一騎当千	
技	ギ わざ	技術, 技師, 特技 技	⇨ 業
宜	ギ	適宜, 便宜	
偽(偽)	ギ いつわる にせ	偽名, 真偽, 虚偽 偽る, 偽り 偽, 偽物, 偽札	
欺	ギ あざむく	詐欺 欺く	
義	ギ	義理, 意義, 正義	
疑	ギ うたがう	疑念, 疑問, 容疑 疑う, 疑い, 疑わしい	
儀	ギ	儀式, 威儀, 地球儀	
戯(戯)	ギ たわむれる	戯曲, 遊戯, 兇戯 戯れる, 戯れ	
擬	ギ	擬音, 擬人法, 模擬	
犠(犠)	ギ	犠牲, 犠打	
議	ギ	議論, 会議, 異議	
菊	キク	菊, 菊花, 白菊	
吉	キチ キツ	吉日, 吉例, 大吉 吉報, 不吉	「吉日」は, 「キツジツ」とも。
喫	キツ	喫煙, 満喫, 喫する	
詰	キツ つめる つまる つむ	詰問, 難詰, 面詰 詰める, 詰め物 詰まる, 行き詰まる 詰む, 詰み	

却	キヤク	却下, 退却, 売却	
客	キヤク カク	客間, 客車, 乗客 客死, 主客, 旅客	
脚	キヤク キャ あし	脚部, 脚本, 三脚 脚立, 行脚 脚, 机の脚	⇨ 足
逆	ギャク さか さからう	逆上, 逆転, 順逆 逆立つ, 逆さ, 逆さま 逆らう	
虐	ギャク しいたげる	虐待, 虐殺, 残虐 虐げる	
九	キュウ ク ここの ここのつ	九百, 三拜九拜 九分九厘, 九月 九日, 九重 九つ	
久	キュウ ク ひさしい	永久, 持久, 耐久 久遠 久しい, 久々	
及	キュウ およぶ および およぼす	及第, 追及, 普及 及ぶ, 及び腰 及び〔接〕 及ぼす	
弓	キュウ ゆみ	弓道, 弓状, 洋弓 弓, 弓矢	
丘	キュウ おか	丘陵, 砂丘 丘	
旧(舊)	キュウ	旧道, 新旧, 復旧	
休	キュウ やすむ やすまる やすめる	休止, 休憩, 定休 休む, 休み 休まる 休める, 気休め	

吸	キユウ すう	吸取, 吸入, 呼吸 吸う	
朽	キユウ くちる	不朽, 老朽, 腐朽 朽ちる	
臼	キユウ うす	臼歯, 脱臼 石臼	
求	キユウ もとめる	求職, 要求, 追求 求める, 求め	
究	キユウ きわめる	究明, 研究, 学究 究める	⇒ 窮める, 極める
泣	キユウ なく	号泣, 感泣 泣く, 泣き沈む	
急	キユウ いそぐ	急速, 急務, 緊急 急ぐ, 急ぎ	
級	キユウ	等級, 上級, 階級	
糾	キユウ	糾弾, 紛糾	
宮	キユウ グウ ク みや	宮殿, 宮廷, 離宮 宮司, 神宮, 東宮 宮, 宮様	「宮内庁」などと使う。
救	キユウ すくう	救助, 救援, 救急 救う, 救い	
球	キユウ たま	球形, 球技, 地球 球	⇒ 玉, 弾
給	キユウ	給水, 配給, 月給	
嗅	キユウ かぐ	嗅覚 嗅ぐ	* [(付) 第2の3参照]
窮	キユウ きわめる きわまる	窮極, 窮屈, 困窮 窮める 窮まる	⇒ 究める, 極める ⇒ 極まる

牛	ギョウ うし	牛馬, 牛乳, 鬪牛 牛	
去	キョ コ さる	去年, 去就, 除去 過去 去る, 去る〇日	
巨	キョ	巨大, 巨匠, 巨万	
居	キョ いる	居住, 居室, 住居 居る, 芝居	居士 (こじ)
拒	キョ こばむ	拒絶, 拒否 拒む	
拠 (據)	キョ コ	拠点, 占拠, 根拠 証拠	
挙 (擧)	キョ あげる あがる	挙手, 挙国, 壮挙 挙げる, 挙げて [副] 挙がる	⇨ 上げる, 揚げる ⇨ 上がる, 揚がる
虚 (虚)	キョ コ	虚無, 虚偽, 空虚 虚空, 虚無僧	
許	キョ ゆるす	許可, 許諾, 特許 許す, 許し	
距	キョ	距離	
魚	ギョ うお さかな	魚類, 金魚, 鮮魚 魚, 魚市場 魚, 魚屋, 煮魚	雑魚 (ざこ)
御	ギョ ゴ おん	御者, 制御 御飯, 御用, 御殿 御中, 御礼	
漁	ギョ リョウ	漁業, 漁船, 漁村 漁師, 大漁, 不漁	「獵」の字音の転用。
凶	キョウ	凶悪, 凶作, 吉凶	

共	キョウ とも	共同, 共通, 公共 共に, 共々, 共食い	
叫	キョウ さけぶ	叫喚, 絶叫 叫ぶ, 叫び	
狂	キョウ くるう くるおしい	狂気, 狂言, 熱狂 狂う 狂おしい	
京	キョウ ケイ	京風, 上京, 帰京	「京浜」, 「京阪」などを使う。
享	キョウ	享有, 享受, 享楽	
供	キョウ ク そなえる とも	供給, 提供, 自供 供物, 供養 供える, お供え 供, 子供	⇨ 備える
協	キョウ	協力, 協会, 妥協	
況	キョウ	状況, 実況, 概況	
峡(峽)	キョウ	峡谷, 地峡, 海峡	
挟(挾)	キョウ はさむ はさまる	挟撃 挟む 挟まる	
狭(狹)	キョウ せまい せばめる せばまる	狭量, 広狭, 偏狭 狭い, 狭苦しい 狭める 狭まる	
恐	キョウ おそれる おそろしい	恐怖, 恐縮, 恐慌 恐れる, 恐れ, 恐らく 恐ろしい	⇨ 畏れる
恭	キョウ うやうやしい	恭賀, 恭順 恭しい	

胸	キョウ むね むな	胸囲, 胸中, 度胸 胸 胸板, 胸毛, 胸騒ぎ	
脅	キョウ おびやかす おどす おどかす	脅迫, 脅威 脅かす 脅す, 脅し, 脅し文句 脅かす	
強	キョウ ゴウ つよい つよまる つよめる しいる	強弱, 強要, 勉強 強引, 強情, 強盗 強い, 強がる 強まる 強める 強いる, 無理強い	
教	キョウ おしえる おそわる	教育, 教訓, 宗教 教える, 教え 教わる	
郷(郷)	キョウ ゴウ	郷里, 郷土, 異郷 郷土, 近郷, 在郷	
境	キョウ ケイ さかい	境界, 境地, 逆境 境内 境, 境目	
橋	キョウ はし	橋脚, 鉄橋, 歩道橋 橋, 丸木橋	
矯	キョウ ためる	矯正, 奇矯 矯める, 矯め直す	
鏡	キョウ かがみ	鏡台, 望遠鏡, 反射鏡 鏡	眼鏡 (めがね)
競	キョウ ケイ きそう せる	競争, 競技, 競泳 競馬, 競輪 競う 競る, 競り合う	
響(響)	キョウ ひびく	音響, 影響, 交響楽 響く, 響き	

驚	キョウ おどろく おどろかす	驚異，驚嘆 驚く，驚き 驚かす	
仰	ギョウ コウ あおぐ おおせ	仰視，仰天，仰角 信仰 仰ぐ 仰せ	
暁(曉)	ギョウ あかつき	暁天，今暁，通暁 暁	
業	ギョウ ゴウ わざ	業績，職業，卒業 業病，罪業，自業自得 業，仕業，早業	⇔ 技
凝	ギョウ こる こらす	凝固，凝結，凝視 凝る，凝り性 凝らす	
曲	キョク まがる まげる	曲線，曲面，名曲 曲がる 曲げる	
局	キョク	局部，時局，結局	
極	キョク ゴク きわめる きわまる きわみ	極限，終極，積極的 極上，極秘，至極 極める，極め付き， 極めて〔副〕 極まる，極まり 極み	⇔ 究める，窮める ⇔ 窮まる
玉	ギョク たま	玉座，玉石，宝玉 玉，目玉	⇔ 球，弾
巾	キン	頭巾，雑巾	
斤	キン	斤量	
均	キン	均等，均一，平均	
近	キン ちかい	近所，近代，接近 近い，近づく，近道	

金	キン コン かね かな	金属, 金銭, 純金 金色, 金剛力, 黄金 金, 金持ち, 針金 金物, 金具, 金縛り	
菌	キン	細菌, 殺菌, 保菌者	
勤(勤)	キン ゴン つとめる つとまる	勤務, 勤勉, 出勤 勤行 勤める, 勤め 勤まる	⇨ 努める, 務める ⇨ 務まる
琴	キン こと	琴線, 木琴, 手風琴 琴	
筋	キン すじ	筋肉, 筋骨, 鉄筋 筋, 筋書, 大筋	
僅	キン わずか	僅差 僅かだ	* [(付) 第2の3参照]
禁	キン	禁止, 禁煙, 嚴禁	
緊	キン	緊張, 緊密, 緊急	
錦	キン にしき	錦秋 錦絵	
謹(謹)	キン つつしむ	謹慎, 謹賀, 謹呈 謹む, 謹んで〔副〕	⇨ 慎む
襟	キン えり	襟度, 開襟, 胸襟 襟, 襟首	
吟	ギン	吟味, 詩吟, 苦吟	
銀	ギン	銀貨, 銀行, 水銀	
区(區)	ク	区別, 区々, 地区	
句	ク	句集, 字句, 節句	

苦	ク くるしい くるしむ くるしめる にがい にがる	苦心, 苦勞, 辛苦 苦しい, 苦しがる, 見苦しい 苦しむ, 苦しみ 苦しめる 苦い, 苦虫, 苦々しい 苦り切る	
驅(驅)	ク かける かる	驅使, 驅逐, 先驅 驅ける, 抜け駆け 驅る, 驅り立てる	
具	グ	具体的, 具備, 道具	
惧	グ	危惧	* [(付) 第2の3参照]
愚	グ おろか	愚問, 愚鈍, 暗愚 愚かだ, 愚かしい	
空	クウ そら あく あける から	空想, 空港, 上空 空, 空色, 青空 空く, 空き巣 空ける 空, 空手, 空手形	⇨ 開く, 明く ⇨ 開ける, 明ける
偶	グウ	偶然, 偶数, 配偶者	
遇	グウ	境遇, 待遇, 遇する	
隅	グウ すみ	一隅 隅, 片隅	
串	くし	串刺し, 串焼き	
屈	クツ	屈辱, 屈伸, 不屈, 理屈	
掘	クツ ほる	掘削, 発掘, 採掘 掘る	
窟	クツ	巣窟, 洞窟	
熊	くま	熊	
繰	くる	繰る, 繰り返す	

君	クン きみ	君主, 君臨, 諸君 君, 母君	
訓	クン	訓練, 教訓, 音訓	
勲(勳)	クン	勲功, 勲章, 殊勲	
薰(薰)	クン かおる	薰風, 薰陶 薰る, 薫り	⇨ 香る
軍	グン	軍隊, 軍備, 空軍	
郡	グン	郡部, 〇〇郡	
群	グン むれる むれ むら	群居, 大群, 抜群 群れる 群れ 群すずめ, 群千鳥, 群がる	
兄	ケイ キョウ あに	兄事, 父兄, 義兄 兄弟 兄	兄(にい)さん 「兄弟」は、「ケイテイ」と読むこともある。
刑	ケイ	刑罰, 刑法, 処刑	
形	ケイ ギョウ かた かたち	形態, 形成, 凶形 形相, 人形 形, 形見, 手形 形	⇨ 型
系	ケイ	系統, 系列, 体系	
径(徑)	ケイ	直径, 直情径行	
莖(莖)	ケイ くき	球莖, 地下莖 莖, 齒莖	
係	ケイ かかる かかり	係累, 係争, 関係 係る 係, 係員, 庶務係	⇨ 掛かる ⇨ 掛
型	ケイ かた	原型, 模型, 典型 型, 型紙, 血液型	⇨ 形

契	ケイ ちぎる	契約, 契機, 黙契 契る, 契り	
計	ケイ はかる はからう	計算, 計画, 寒暖計 計る 計らう, 計らい	時計 (とけい) ⇒ 測る, 量る, 図る, 謀る
恵 (恵)	ケイ エ めぐむ	恵贈, 恵与, 恩恵 恵方参り, 知恵 恵む, 恵み	
啓	ケイ	啓発, 啓示, 拜啓	
掲 (掲)	ケイ かかげる	掲示, 掲載, 前掲 掲げる	
溪 (溪)	ケイ	溪谷, 溪流, 雪溪	
経 (經)	ケイ キョウ へる	経費, 経済, 経験 経文, お経, 写経 経る	読経 (どきょう)
蛍 (螢)	ケイ ほたる	蛍光灯, 蛍光塗料 蛍	
敬	ケイ うやまう	敬意, 敬服, 尊敬 敬う	
景	ケイ	景気, 風景, 光景	景色 (けしき)
軽 (輕)	ケイ かるい かるやか	軽快, 軽薄, 軽率 軽い, 軽々と, 手軽だ 軽やかだ	
傾	ケイ かたむく かたむける	傾斜, 傾倒, 傾向 傾く, 傾き 傾ける	
携	ケイ たずさえる たずさわる	携帯, 必携, 提携 携える 携わる	
継 (繼)	ケイ つぐ	継続, 継承, 中継 継ぐ, 継ぎ	⇒ 接ぐ, 次ぐ

詣	ケイ もうでる	参詣 詣でる, 初詣	
慶	ケイ	慶弔, 慶祝, 慶賀	
憬	ケイ	憧憬	
稽	ケイ	稽古, 滑稽	* [(付) 第2の3参照]
憩	ケイ いこい いこう	休憩 憩い 憩う	
警	ケイ	警告, 警戒, 警察	
鷄(鶏)	ケイ にわとり	鷄卵, 鷄舎, 養鷄 鷄	
芸(藝)	ゲイ	芸術, 芸能, 文芸	
迎	ゲイ むかえる	迎合, 歓迎, 送迎 迎える, 出迎え	
鯨	ゲイ くじら	鯨油, 捕鯨 鯨	
隙	ゲキ すき	間隙 隙間	「隙間」は, 「透き間」とも書く。
劇	ゲキ	劇業, 劇場, 演劇	
撃(撃)	ゲキ うつ	撃退, 攻撃, 打撃 撃つ, 早撃ち	⇔ 打つ, 討つ
激	ゲキ はげしい	激動, 感激, 激する 激しい, 激しさ	
桁	けた	桁違い, 橋桁	
欠(缺)	ケツ かける かく	欠乏, 欠席, 補欠 欠ける 欠く	

穴	ケツ あな	穴居, 墓穴 穴	
血	ケツ ち	血液, 血統, 鮮血 血, 鼻血	
決	ケツ きめる きまる	決裂, 決意, 解決 決める, 取り決め 決まる, 決まり	
結	ケツ むすぶ ゆう ゆわえる	結論, 結婚, 連結 結ぶ, 結び 結う, 元結 結わえる	
傑	ケツ	傑物, 傑作, 豪傑	
潔	ケツ いさぎよい	潔白, 清潔, 純潔 潔い	
月	ゲツ ガツ つき	月曜, 明月, 歲月 正月, 九月 月, 月見, 三日月	五月 (さつき) 五月雨 (さみだれ)
犬	ケン いぬ	犬歯, 愛犬, 野犬 犬	
件	ケン	件数, 事件, 条件	
見	ケン みる みえる みせる	見学, 見地, 意見 見る, 下見 見える 見せる, 顔見せ	⇒ 診る
券	ケン	乗車券, 旅券, 債券	
肩	ケン かた	肩章, 双肩, 比肩 肩	
建	ケン コン たてる たつ	建築, 建議, 封建的 建立 建てる, 建物, 二階建て 建つ, 一戸建ち	⇒ 立てる ⇒ 立つ

研(研)	ケン とぐ	研究, 研修 研ぐ	
県(縣)	ケン	県庁, 県立, 〇〇県	
儉(儉)	ケン	儉約, 節儉, 勤儉	
兼	ケン かねる	兼用, 兼任, 兼職 兼ねる	
劍(劍)	ケン つるぎ	劍道, 劍舞, 刀劍 劍	
拳	ケン こぶし	拳銃, 拳法 握り拳	
軒	ケン のき	軒数, 一軒 軒, 軒先	
健	ケン すこやか	健康, 健闘, 強健 健やかだ	
険(險)	ケン けわしい	険悪, 危険, 保険 険しい, 険しさ	
圏(圈)	ケン	圏内, 圏外, 成層圏	
堅	ケン かたい	堅固, 堅実, 中堅 堅い	⇒ 硬い, 固い
検(檢)	ケン	検査, 検討, 点検	
嫌	ケン ゲン きらう いや	嫌悪, 嫌疑 機嫌 嫌う, 嫌い 嫌だ, 嫌がる, 嫌気がさす	
献(獻)	ケン コン	献上, 献身的, 文献 献立, 一献	
絹	ケン きぬ	絹布, 人絹 絹, 薄絹	

遣	ケン つかう つかわす	遣外, 派遣, 分遣 遣う, 金遣い 遣わす	⇒ 使う
権(權)	ケン ゴン	権利, 権威, 人權 権化, 権現	
憲	ケン	憲法, 憲章, 官憲	
賢	ケン かしこい	賢人, 賢明, 先賢 賢い	
謙	ケン	謙虚, 謙讓	
鍵	ケン かぎ	鍵盤 鍵, 鍵穴	
繭	ケン まゆ	繭糸 繭, 繭玉	
顕(顯)	ケン	顕著, 顕彰, 顕微鏡	
験(驗)	ケン ゲン	試験, 経験, 実験 験がある, 靈験	
懸	ケン ケ かける かかる	懸垂, 懸賞, 懸命 懸念, 懸想 懸ける, 命懸け 懸かる	⇒ 掛ける, 架ける, 賭ける ⇒ 掛かる, 架かる
元	ゲン ガン もと	元素, 元氣, 多元 元祖, 元日, 元来 元, 元帳, 家元	⇒ 下, 本, 基
幻	ゲン まぼろし	幻滅, 幻覚, 夢幻 幻	
玄	ゲン	玄米, 玄関, 幽玄	玄人(くろうと)
言	ゲン ゴン いう こと	言行, 言論, 宣言 言上, 伝言, 無言 言う, 物言い 言葉, 寝言	

弦	ゲン つる	上弦, 正弦 弦	
限	ゲン かぎる	限度, 制限, 期限 限る, 限り	
原	ゲン はら	原因, 原理, 高原 原, 野原, 松原	海原 (うなばら) 河原・川原 (かわら)
現	ゲン あらわれる あらわす	現象, 現在, 表現 現れる, 現れ 現す	⇨ 表れる ⇨ 表す, 著す
舷	ゲン	舷側, 右舷	
減	ゲン へる へらす	減少, 増減, 加減 減る, 目減り 減らす, 人減らし	
源	ゲン みなもと	源泉, 水源, 資源 源	
嚴(嚴)	ゲン ゴン おごそか きびしい	嚴格, 嚴重, 威嚴 莊嚴 嚴かだ 嚴しい, 嚴しさ	
己	コ キ おのれ	自己, 利己 知己, 克己 己	
戸	コ と	戸外, 戸籍, 下戸 戸, 雨戸	
古	コ ふるい ふるす	古代, 古典, 太古 古い, 古株, 古びる 使い古す	
呼	コ よぶ	呼吸, 呼応, 点呼 呼ぶ, 呼び声	

固	コ かためる かたまる かたい	固定，固有，堅固 固める，固め 固まる，固まり 固い，固さ	固唾（かたず） ⇔ 堅い，硬い
股	コ また	股間，股関節 内股，大股	
虎	コ とら	虎穴，猛虎 虎	
孤	コ	孤児，孤独，孤立	
弧	コ	弧状，括弧，円弧	
故	コ ゆえ	故郷，故意，事故 故，故に	
枯	コ かれる からす	枯死，枯淡，榮枯 枯れる，枯れ木 枯らす，木枯らし	
個	コ	個人，個性，一個	
庫	コ ク	倉庫，文庫，車庫 庫裏	
湖	コ みずうみ	湖水，湖沼，湖畔 湖	
雇	コ やとう	雇用，雇員，解雇 雇う，日雇い	
誇	コ ほこる	誇示，誇大，誇張 誇る，誇り，誇らしい	
鼓	コ つづみ	鼓動，鼓舞，太鼓 鼓，小鼓	
錮	コ	禁錮	
顧	コ かえりみる	顧慮，顧問，回顧 顧みる	⇔ 省みる

五	ゴ いつ いつつ	五穀, 五色, 五目飯 五日 五つ	五月 (さつき) 五月雨 (さみだれ)
互	ゴ たがい	互角, 互選, 相互 互い, 互いに, 互い違い	
午	ゴ	午前, 正午, 子午線	
呉	ゴ	呉服, 呉越同舟	
後	ゴ コウ のち うしろ あと おくれる	後刻, 前後, 午後 後続, 後悔, 後輩 後, 後添い, 後の世 後ろ, 後ろめたい 後, 後味, 後回し 後れる, 後れ毛, 気後れ	⇒ 跡, 痕 ⇒ 遅れる
娛	ゴ	娯楽	
悟	ゴ さとる	悟性, 覚悟, 悔悟 悟る, 悟り	
碁	ゴ	碁石, 碁盤, 囲碁	
語	ゴ かたる かたらう	語学, 新語, 国語 語る, 物語 語らう, 語らい	
誤	ゴ あやまる	誤解, 正誤, 錯誤 誤る, 誤り	
護	ゴ	護衛, 救護, 保護	
口	コウ ク くち	口述, 人口, 開口 口調, 口伝, 異口同音 口, 口絵, 出口	
工	コウ ク	工場, 加工, 人工 工面, 細工, 大工	
公	コウ おおやけ	公平, 公私, 公園 公	

勾	コウ	勾配, 勾留	
孔	コウ	鼻孔, 氣孔	
功	コウ ク	功名, 功績, 成功 功德	
巧	コウ たくみ	巧拙, 巧妙, 技巧 巧みな術	
広(廣)	コウ ひろい ひろまる ひろめる ひろがる ひろげる	広大, 広言, 広義 広い, 広場, 広々と 広まる 広める 広がる, 広がり 広げる	
甲	コウ カン	甲乙, 装甲車 甲板, 甲高い	「甲板」は, 「コウハン」とも。
交	コウ まじわる まじえる まじる まざる まぜる かう かわす	交通, 交番, 社交 交わる, 交わり 交える 交じる 交ざる 交ぜる, 交ぜ織り 飛び交う 交わす	⇒ 混じる ⇒ 混ざる ⇒ 混ぜる
光	コウ ひかる ひかり	光線, 栄光, 観光 光る, 光り輝く 光, 稲光	
向	コウ むく むける むかう むこう	向上, 傾向, 趣向 向く, 向き 向ける, 顔向け 向かう, 向かい 向こう, 向こう側	
后	コウ	皇后, 皇太后	
好	コウ このむ すく	好意, 好敵手, 良好 好む, 好み, 好ましい 好く, 好き嫌い, 好きな絵	

江 考 行	コウ え	江湖 入り江	
	コウ かんがえる	考慮, 思考, 参考 考える, 考え	
	コウ ギョウ アン いく ゆく おこなう	行進, 行為, 旅行 行列, 行政, 修行 行脚, 行火 行く 行く, 行く末 行う, 行い	⇔ 逝く 行方 (ゆくえ) ⇔ 逝く
	坑	坑道, 炭坑, 廢坑	
	孝	孝行, 孝心, 不孝	
抗 攻	コウ	抗争, 抗議, 對抗	
	コウ せめる	攻守, 攻撃, 專攻 攻める	
	更	更新, 更迭, 變更 更に, 今更 更ける, 夜更け 更かす, 夜更かし	
効(效)	コウ きく	効果, 効力, 時効 効く, 効き目	⇔ 利く
幸	コウ さいわい さち しあわせ	幸福, 不幸, 行幸 幸い, 幸いな事 幸 幸せ, 幸せな人	
拘 肯 侯 厚	コウ	拘束, 拘留, 拘置	
	コウ	肯定, 首肯	
	コウ	諸侯, 王侯	
	コウ あつい	厚情, 厚生, 濃厚 厚い, 厚み	

恒(恆)	コウ	恒常, 恒例, 恒久	
洪	コウ	洪水, 洪積層	
皇	コウ オウ	皇帝, 皇室, 皇后 法皇	「天皇」は, 「テンノウ」。
紅	コウ ク べに くれない	紅白, 紅茶, 紅葉 真紅, 深紅 紅, 口紅 紅	紅葉 (もみじ)
荒	コウ あらい あれる あらす	荒天, 荒廃, 荒涼 荒い, 荒波, 荒々しい 荒れる, 荒れ地, 大荒れ 荒らす, 倉庫荒らし	⇒ 粗い
郊	コウ	郊外, 近郊	
香	コウ キョウ か かおり かおる	香水, 香気, 線香 香車 香, 色香, 移り香 香り 香る	⇒ 薫り ⇒ 薫る
候	コウ そうろう	候補, 気候, 測候所 候文, 居候	
校	コウ	校閲, 将校, 学校	
耕	コウ たがやす	耕作, 耕地, 農耕 耕す	
航	コウ	航海, 航空, 就航	
貢	コウ ク みつぐ	貢献 年貢 貢ぐ, 貢ぎ物	
降	コウ おりる おろす ふる	降雨, 降参, 下降 降りる, 乗り降り 降ろす 降る, 大降り	⇒ 下りる ⇒ 下ろす, 卸す

高	コウ たかい たか たかまる たかめる	高低, 高級, 最高 高い, 高台, 高ぶる 高, 売上高 高まる, 高まり 高める	
康	コウ	健康, 小康	
控	コウ ひかえる	控除, 控訴 控える, 控え	
梗	コウ	心筋梗塞, 脳梗塞	
黄(黄)	コウ オウ き こ	黄葉 黄金, 卵黄 黄, 黄色い, 黄ばむ 黄金	硫黄 (いおう)
喉	コウ のど	喉頭, 咽喉 喉, 喉元	
慌	コウ あわてる あわただしい	恐慌 慌てる, 大慌て 慌ただしい, 慌ただしさ, 慌ただしげだ	
港	コウ みなと	港湾, 漁港, 出港 港	
硬	コウ かたい	硬度, 硬貨, 生硬 硬い, 硬さ	⇔ 堅い, 固い
絞	コウ しぼる しめる しまる	絞殺, 絞首刑 絞る, 絞り上げる, 絞り 絞める 絞まる	⇔ 搾る ⇔ 締める ⇔ 締まる
項	コウ	項目, 事項, 条項	
溝	コウ みぞ	下水溝, 排水溝 溝	
鉦(鑛)	コウ	鉦物, 鉦山, 鉄鉦	

コウーゴウ

構	コウ かまえる かまう	構造, 構内, 結構 構える, 構え 構う, 構わない	
綱	コウ つな	綱紀, 綱領, 大綱 綱, 横綱	
酵	コウ	酵母	
稿	コウ	草稿, 原稿, 投稿	
興	コウ キョウ おこる おこす	興行, 復興, 振興 興味, 興趣, 余興 興る 興す	⇨ 起こる ⇨ 起こす
衡	コウ	均衡, 平衡, 度量衡	
鋼	コウ はがね	鋼鉄, 鋼材, 製鋼 鋼	
講	コウ	講義, 講演, 聴講	
購	コウ	購入, 購買, 購読	
乞	こう	乞う, 命乞い	⇨ 請う
号(號)	ゴウ	号令, 号外, 番号	
合	ゴウ ガッ カツ あう あわす あわせる	合同, 合計, 結合 合併, 合宿, 合点 合戦 合う, 落ち合う, 試合 合わす 合わせる, 問い合わせる	「合点」は、「ガテン」とも。 ⇨ 会う, 遭う ⇨ 併せる
拷	ゴウ	拷問	
剛	ゴウ	剛健, 金剛力	
傲	ゴウ	傲然, 傲慢	
豪	ゴウ	豪遊, 豪雨, 文豪	

克	コク	克服, 克明, 克己	
告	コク つげる	告示, 告白, 報告 告げる	
谷	コク たに	幽谷 谷, 谷川	
刻	コク きざむ	彫刻, 時刻, 深刻 刻む, 刻み	
国(國)	コク くに	国際, 国家, 外国 国, 島国	
黒(黒)	コク くろ くろい	黒板, 漆黒, 暗黒 黒, 真っ黒, 白黒 黒い, 黒さ, 腹黒い	
穀(穀)	コク	穀物, 雑穀, 脱穀	
酷	コク	酷似, 冷酷, 残酷	
獄	ゴク	獄舎, 地獄, 疑獄	
骨	コツ ほね	骨子, 筋骨, 老骨 骨, 骨折り	
駒	こま	持ち駒	
込	こむ こめる	込む 込める, やり込める	⇒ 混む
頃	ころ	頃, 日頃	
今	コン キン いま	今後, 今日, 今朝, 今年, 昨今 今上 今, 今し方	今日 (きょう) 今朝 (けさ) 今年 (ことし)
困	コン こまる	困難, 困窮, 貧困 困る	
昆	コン	昆虫, 昆布	「昆布」は, 「コブ」とも。

恨	コン うらむ うらめしい	遺恨, 痛恨, 悔恨 恨む, 恨み 恨めしい	
根	コン ね	根拠, 根気, 平方根 根, 根強い, 屋根	
婚	コン	婚約, 結婚, 新婚	
混	コン まじる まざる まぜる こむ	混合, 混雑, 混迷 混じる, 混じり物 混ざる 混ぜる, 混ぜ物 混む, 混み合う, 人混み	⇒ 交じる ⇒ 交ざる ⇒ 交ぜる ⇒ 込む 「混み合う」, 「人混み」は, 「込み合う」, 「人込み」とも書く。
痕	コン あと	痕跡, 血痕 痕, 傷痕	⇒ 跡, 後
紺	コン	紺青, 紺屋, 濃紺	「紺屋」は, 「コウヤ」とも。
魂	コン たましい	魂胆, 霊魂, 商魂 魂, 負けじ魂	
墾	コン	開墾	
懇	コン ねんごろ	懇切, 懇親会 懇ろだ	
左	サ ひだり	左右, 左翼, 左遷 左, 左利き	
佐	サ	佐幕, 補佐, 大佐	
沙	サ	沙汰	
査	サ	査察, 調査, 巡査	
砂	サ シャ すな	砂丘, 砂糖 土砂 砂, 砂場	砂利 (じゃり)
唆	サ そそのかす	教唆, 示唆 唆す	

差	サ さす	差異, 差別, 誤差 差す	差し支える (さしつかえる) ⇨ 刺す, 指す, 挿す
詐	サ	詐欺, 詐取, 詐称	
鎖	サ くさり	鎖国, 連鎖, 封鎖 鎖	
座	ザ すわる	座席, 座談, 星座 座る, 座り込み	⇨ 据わる
挫	ザ	挫折, 頓挫	
才	サイ	才能, 才覚, 秀才	
再	サイ サ ふたたび	再度, 再選, 再出奔 再来年, 再来月, 再来週 再び	
災	サイ わざわい	災害, 災難, 火災 災い	
妻	サイ つま	妻子, 夫妻, 良妻 妻, 人妻	
采	サイ	采配, 喝采	
碎 (碎)	サイ くだく くだける	碎石, 碎氷, 粉碎 砕く 砕ける	
宰	サイ	宰領, 宰相, 主宰	
栽	サイ	栽培, 盆栽	
彩	サイ いろどる	彩色, 色彩, 淡彩 彩る, 彩り	
採	サイ とる	採集, 採用, 採光 採る	⇨ 取る, 執る, 捕る
濟 (濟)	サイ すむ すます	返濟, 救濟, 經濟 濟む, 使用濟み 濟ます	

祭	サイ まつる まつり	祭礼, 文化祭 祭る, 祭り上げる 祭り, 秋祭り	
齋(齋)	サイ	齋場, 潔齋, 書齋	
細	サイ ほそい ほそる こまか こまかい	細心, 詳細, 零細 細い, 細腕, 心細い 細る 細かだ 細かい	
菜	サイ な	菜園, 菜食, 野菜 菜, 青菜	
最	サイ もっとも	最大, 最近, 最先端 最も	最寄り (もより)
裁	サイ たつ さばく	裁縫, 裁判, 体裁 裁つ, 裁ち物 裁く, 裁き	⇒ 断つ, 絶つ
債	サイ	債務, 負債, 公債	
催	サイ もよおす	催眠, 開催, 主催 催す, 催し	
塞	サイ ソク ふさぐ ふさがる	要塞 脑梗塞, 閉塞 塞ぐ 塞がる	
歳	サイ セイ	歳末, 歲月, 二十歳 歳暮	二十歳 (はたち)
載	サイ のせる のる	積載, 掲載, 記載 載せる 載る	⇒ 乗せる ⇒ 乗る
際	サイ きわ	際限, 交際, この際 際, 際立つ, 窓際	
埼	さい		埼玉県

在	ザイ ある	在留, 在宅, 存在 在る, 在りし日	⇨ 有る
材	ザイ	材木, 材料, 人材	
劑(劑)	ザイ	薬剤師, 錠劑, 消化劑	
財	ザイ サイ	財産, 私財, 文化財 財布	
罪	ザイ つみ	罪状, 犯罪, 謝罪 罪	
崎	さき	〇〇崎	
作	サク サ つくる	作為, 著作, 豊作 作業, 作用, 動作 作る	⇨ 造る, 創る
削	サク けずる	削除, 削減, 添削 削る	
昨	サク	昨日, 昨年, 一昨日	昨日 (きのう)
柵	サク	鉄柵	
索	サク	索引, 思索, 鉄索	
策	サク	策略, 政策, 対策	
酢	サク す	酢酸 酢, 酢の物	
搾	サク しぼる	搾取, 圧搾 搾る	⇨ 絞る
錯	サク	錯誤, 錯覚, 交錯	
咲	さく	咲く, 遅咲き	
冊	サツ サク	冊子, 別冊 短冊	

札	サツ ふだ	札入れ, 表札, 入札 札, 名札	
刷	サツ する	刷新, 印刷, 増刷 刷る	
刹	サツ セツ	古刹, 名刹 刹那	
搦	サツ	挨拶	
殺(殺)	サツ サイ セツ ころす	殺人, 殺到, 黙殺 相殺 殺生 殺す, 殺し, 見殺し	
察	サツ	察知, 観察, 考察	
撮	サツ とる	撮影 撮る	
擦	サツ する すれる	擦過傷, 摩擦 擦る, 擦り傷 擦れる, 靴擦れ	
雑(雑)	ザツ ゾウ	雑談, 雑音, 混雑 雑炊, 雑木林, 雑兵	雑魚(ざこ)
皿	さら	皿, 灰皿	
三	サン み みつ みっつ	三角, 三流, 再三 三日月, 三日(みっか) 三つ指 三つ	三味線(しゃみせん)
山	サン やま	山脈, 高山, 登山 山	山車(だし) 築山(つきやま)
参(参)	サン まいる	参加, 参万円, 降参 参る, 寺参り	
栈(棧)	サン	栈, 栈橋	栈敷(さじき)

蚕(蠶)	サン かいこ	蚕糸, 蚕食, 養蚕 蚕	
惨(慘)	サン ザン みじめ	惨劇, 悲惨, 陰惨 惨死, 惨殺 惨めだ	
産	サン うむ うまれる うぶ	産業, 生産, 出産 産む, 産み月 産まれる 産湯, 産着, 産毛	土産(みやげ) ⇨ 生む ⇨ 生まれる
傘	サン かさ	傘下, 落下傘 傘, 雨傘, 日傘	
散	サン ちる ちらす ちらかす ちらかる	散歩, 散文, 解散 散る, 散り散りに 散らす 散らかす 散らかる	
算	サン	算数, 計算, 予算	
酸	サン すい	酸味, 酸素, 辛酸 酸い, 酸っぱい	
賛(贊)	サン	賛成, 賛同, 称赞	
残(殘)	ザン のこる のこす	残留, 残念, 敗残 残る, 残り 残す, 食べ残し	名残(なごり)
斬	ザン きる	斬殺, 斬新 斬る	⇨ 切る
暫	ザン	暫時, 暫定	
士	シ	士官, 武士, 紳士	海士(あま) 居士(こじ) 博士(はかせ)
子	シ ス こ	子孫, 女子, 帽子 金子, 扇子, 様子 子, 親子, 年子	迷子(まいご) 息子(むすこ)

支

シ
ささえる支持，支障，支店
支える，支え

差し支える（さしつかえる）

止

シ
とまる
とめる止宿，静止，中止
止まる，行き止まり
止める，歯止め波止場（はとば）
⇨ 留まる，泊まる
⇨ 留める，泊める

氏

シ
うじ氏名，姓氏，某氏
氏，氏神

仕

シ
ジ
つかえる仕事，出仕
給仕
仕える

史

シ

史学，歴史，国史

司

シ

司会，司令，上司

四

シ
よ
よつ
よっつ
よん四角，四季，四十七士
四人，四日（よっか），
四月目
四つ角
四つ
四回，四階

市

シ
いち市民，市況，都市
市，競り市

矢

シ
や一矢を報いる
矢，矢印，矢面

旨

シ
むね要旨，趣旨，本旨
旨

死

シ
しぬ死亡，死角，必死
死ぬ，死に絶える

糸（絲）

シ
いと綿糸，蚕糸，製糸
糸，糸目，毛糸

至

シ
いたる至当，夏至，冬至
至る，至って〔副〕

伺	シ うかがう	伺候 伺う, 伺い	
志	シ こころざす こころざし	志望, 有志, 寸志 志す 志	
私	シ わたくし わたし	私立, 私腹, 公私 私, 私する 私	
使	シ つかう	使役, 使者, 駆使 使う, 使い	⇨ 遣う
刺	シ さす ささる	刺激, 名刺, 風刺 刺す, 刺し殺す 刺さる	⇨ 差す, 指す, 挿す
始	シ はじめる はじまる	始終, 年始, 開始 始める, 始め 始まる, 始まり	⇨ 初め, 初めて
姉	シ あね	姉妹, 諸姉 姉, 姉上	姉 (ねえ) さん
枝	シ えだ	枝葉 枝	
祉(祉)	シ	福祉	
肢	シ	肢体, 下肢, 選択肢	
姿	シ すがた	姿勢, 容姿, 雄姿 姿	
思	シ おもう	思想, 意思, 相思 思う, 思い, 思わしい	
指	シ ゆび さす	指示, 指導, 屈指 指, 指先 指す, 指図, 名指し	⇨ 差す, 刺す, 挿す

施	シ セ ほどこす	施設, 施政, 実施 施主, 施療, 布施 施す, 施し	
師	シ	師匠, 教師, 医師	師走 (しわす)
恣	シ	恣意的	* [(付) 第2の3参照]
紙	シ かみ	紙面, 用紙, 新聞紙 紙, 紙くず, 厚紙	
脂	シ あぶら	脂肪, 油脂, 樹脂 脂, 脂ぎる	⇔ 油
視(視)	シ	視覚, 視力, 注視	
紫	シ むらさき	紫紺, 紫煙, 紫外線 紫, 紫色	
詞	シ	歌詞, 作詞, 品詞	祝詞 (のりと)
齒(齒)	シ は	歯科, 乳齒, 義齒 齒, 入れ齒	
嗣	シ	嗣子, 嫡嗣	
試	シ こころみる ためす	試験, 試作, 追試 試みる, 試み 試す, 試し	
詩	シ	詩情, 詩人, 詩歌	「詩歌」は, 「シイカ」とも。
資	シ	資本, 資格, 物資	
飼	シ かう	飼育, 飼料 飼う	
誌	シ	誌面, 日誌, 雑誌	
雌	シ め めす	雌雄, 雌伏 雌花, 雌牛, 雌しべ 雌, 雌犬	

摯	シ	真摯	
賜	シ たまわる	賜暇, 下賜, 恩賜 賜る	
諮	シ はかる	諮問 諮る	
示	ジ シ しめす	示威, 示談, 指示 示唆 示す, 示し	
字	ジ あざ	字画, 文字, 活字 字, 大字	
寺	ジ てら	寺院, 社寺, 末寺 寺, 尼寺	
次	ジ シ つぐ つぎ	次回, 次元, 目次 次第 次ぐ, 次いで〔副〕 次, 次に, 次々と	⇒ 繼ぐ
耳	ジ みみ	耳鼻科, 中耳炎 耳, 早耳	
自	ジ シ みずから	自分, 自由, 各自 自然 自ら	
似	ジ にる	類似, 酷似, 疑似 似る, 似顔	
児(兒)	ジ ニ	児童, 幼児, 優良児 小児科	稚児(ちご) 鹿児島(かごしま)県
事	ジ ズ こと	事物, 無事, 師事 好事家 事, 仕事, 出来事	
侍	ジ さむらい	侍従, 侍女, 侍医 侍	

治	ジ チ おさめる おさまる なおる なおす	政治, 療治 治安, 治水, 自治 治める 治まる 治る 治す	⇨ 修める ⇨ 修まる ⇨ 直る ⇨ 直す
持	ジ もつ	持参, 持続, 支持 持つ	
時	ジ とき	時間, 時候, 当時 時, 時めく, 時々	時雨 (しぐれ) 時計 (とけい)
滋	ジ	滋味, 滋養	滋賀 (しが) 県
慈	ジ いつくしむ	慈愛, 慈善, 慈悲 慈しむ, 慈しみ	
辞 (辭)	ジ やめる	辞書, 辞職, 式辞 辞める	
磁	ジ	磁石, 磁気, 陶磁器	
餌 [餌]	ジ えさ え	好餌, 食餌 餌 餌食	[餌] = 許容字体, * [(付) 第2の3 参照]
璽	ジ	御璽, 国璽	
鹿	しか か	鹿 鹿の子	
式	シキ	式典, 形式, 数式	
識	シキ	識別, 意識, 知識	
軸	ジク	軸, 車軸, 地軸	
七	シチ なな ななつ なの	七五三, 七福神 七月目 七つ 七日	七夕 (たなばた) 「七日」は, 「なぬか」とも。

叱	シツ しかる	叱責 叱る	
失	シツ うしなう	失望, 失敗, 消失 失う	
室	シツ むろ	室内, 皇室, 居室 室, 室咲き	
疾	シツ	疾患, 疾走, 悪疾	
執	シツ シュウ とる	執務, 執筆, 確執 執念, 執心, 我執 執る	⇒ 取る, 採る
湿(濕)	シツ しめる しめす	湿度, 湿地, 多湿 湿る, 湿り 湿す	
嫉	シツ	嫉妬	
漆	シツ うるし	漆器, 漆黒, 乾漆 漆	
質	シツ シチ チ	質問, 質実, 本質 質屋, 人質 言質	
実(實)	ジツ み みのる	実力, 充実, 実に 実, 実入り 実る, 実り	
芝	しば	芝, 芝居	芝生 (しばふ)
写(寫)	シャ うつす うつる	写真, 描写, 映写 写す, 写し 写る, 写り	⇒ 映す ⇒ 映る
社(社)	シャ やしろ	社会, 会社, 神社 社	
車	シャ くるま	車輪, 車庫, 電車 車, 歯車	山車 (だし)

舎	シャ	舎監, 校舎, 寄宿舍	田舎 (いなか)
者(者)	シャ もの	医者, 前者, 第三者 者, 若者	猛者 (もさ)
射	シャ いる	射撃, 発射, 日射病 射る	
捨	シャ すてる	捨象, 取捨, 喜捨 捨てる, 捨て子	
赦	シャ	赦免, 大赦, 恩赦	
斜	シャ ななめ	斜面, 斜線, 傾斜 斜め	
煮(煮)	シャ にる にえる にやす	煮沸 煮る, 雑煮 煮える, 生煮え 業を煮やす	
遮	シャ さえぎる	遮断 遮る	
謝	シャ あやまる	謝絶, 感謝, 陳謝 謝る, 平謝り	
邪	ジャ	邪悪, 邪推, 正邪	風邪 (かぜ)
蛇	ジャ ダ へび	蛇の目, 蛇腹, 大蛇 蛇行, 蛇足, 長蛇 蛇	
尺	シャク	尺度, 尺貫法	
借	シャク かりる	借用, 借金, 貸借 借りる, 借り	
酌	シャク くむ	酌量, 晩酌 酌む, 酌み交わす	
釈(釋)	シャク	釈明, 釈放, 解釈	

爵 若	シャク	爵位	
	ジャク ニャク わかい もしくは	若年, 若干, 自若 老若 若い, 若者, 若々しい 若しくは	「老若」は, 「ロウジャク」とも。 若人 (わこうど)
弱	ジャク よわい よわる よわまる よわめる	弱点, 弱小, 強弱 弱い, 弱虫, 足弱 弱る 弱まる 弱める	
	ジャク セキ さび さびしい さびれる	寂滅, 静寂, 閑寂 寂然, 寂として 寂 寂しい, 寂しがる 寂れる	「寂然」は, 「ジャクネン」とも。
手	シュ て た	手腕, 挙手, 選手 手, 手柄, 素手 手綱, 手繰る	上手 (じょうず) 下手 (へた) 手伝 (てつだ) う
	シュ ス ぬし おも	主人, 主権, 施主 法主, 坊主 主, 地主 主な人々	「法主(ホッス)」は, 「ハウシュ」, 「ホッシュ」とも。
守	シュ ス まもる もり	守備, 保守, 攻守 留守 守る, 守り お守り, 子守, 灯台守	
	シュ	朱肉, 朱筆, 朱塗り	
取	シュ とる	取捨, 取材, 聴取 取る	⇔ 採る, 執る, 捕る
	シュ かる かり	狩獵 狩る, 狩り込み 狩り, ぶどう狩り	
首	シュ くび	首尾, 首席, 自首 首, 首飾り	

殊	シュ こと	殊勝, 殊勲, 特殊 殊に, 殊の外, 殊更	
珠	シュ	珠玉, 珠算, 真珠	数珠 (じゆず)
酒	シュ さけ さか	酒宴, 飲酒, 洋酒 酒, 酒好き, 甘酒 酒屋, 酒場, 酒盛り	お神酒 (みぎ)
腫	シュ はれる はらす	腫瘍 腫れる, 腫れ 腫らす	
種	シュ たね	種類, 人種, 品種 種, 菜種, 一粒種	
趣	シュ おもむき	趣向, 趣味, 興趣 趣	
寿 (壽)	ジュ ことぶき	寿命, 長寿, 米寿 寿	
受	ジュ うける うかる	受諾, 受験, 甘受 受ける, 受付 受かる	⇨ 請ける
呪	ジュ のろう	呪縛, 呪文 呪う	
授	ジュ さずける さずかる	授与, 伝授, 教授 授ける 授かる	
需	ジュ	需要, 需給, 必需品	
儒	ジュ	儒学, 儒教, 儒者	
樹	ジュ	樹木, 樹立, 街路樹	
収 (收)	シュウ おさめる おさまる	収穫, 収入, 回収 収める 収まる	⇨ 納める ⇨ 納まる

囚	シュウ	囚人, 死刑囚	
州	シュウ す	州議会, 六大州 州, 中州, 三角州	
舟	シュウ ふね ふな	舟運, 舟艇, 舟航 舟, 小舟, 渡し舟 舟遊び, 舟宿, 舟歌	⇔ 船
秀	シュウ ひいでる	秀逸, 秀才, 優秀 秀でる	
周	シュウ まわり	周知, 周困, 円周 周り	⇔ 回り
宗	シュウ ソウ	宗教, 宗派, 改宗 宗家, 宗匠	
拾	シュウ ジュウ ひろう	拾得, 收拾 拾万円 拾う, 拾い物	
秋	シュウ あき	秋季, 秋分, 晩秋 秋	
臭(臭)	シュウ くさい におう	臭気, 悪臭, 俗臭 臭い, 臭み, 臭さ 臭う, 臭い	⇔ 匂う
修	シュウ シュ おさめる おさまる	修飾, 修養, 改修 修行 修める 修まる	⇔ 治める ⇔ 治まる
袖	シュウ そで	領袖 袖, 半袖	
終	シュウ おわる おえる	終了, 終日, 最終 終わる, 終わり 終える	
羞	シュウ	羞恥心	

習	シュウ ならう	習得, 習慣, 練習 習う, 手習い	⇨ 倣う
週	シュウ	週刊, 週末, 毎週	
就	シュウ ジュ つく つける	就任, 就寝, 去就 成就 就く 就ける	⇨ 着く, 付く ⇨ 着ける, 付ける
衆	シュウ シュ	衆寡, 民衆, 聴衆 衆生	
集	シュウ あつまる あつめる つどう	集合, 集結, 全集 集まる, 集まり 集める, 人集め 集う, 集い	
愁	シュウ うれえる うれい	愁傷, 哀愁, 憂愁 愁える 愁い	⇨ 憂える ⇨ 憂い
酬	シュウ	報酬, 応酬	
醜	シュウ みにくい	醜悪, 醜態, 美醜 醜い, 醜さ	
蹴	シュウ ける	一蹴 蹴る, 蹴散らす	
襲	シュウ おそう	襲撃, 襲名, 世襲 襲う	
十	ジュウ ジッ とお と	十字架, 十文字 十回 十, 十日 十色, 十重	十重二十重 (とえはたえ) 二十・二十歳 (はたち) 二十日 (はつか) 「ジュッ」とも。
汁	ジュウ しる	果汁, 墨汁 汁, 汁粉	

充	ジュウ あてる	充実, 充電, 補充 充てる	⇨ 当てる, 宛てる
住	ジュウ すむ すまう	住所, 安住, 衣食住 住む 住まう, 住まい	
柔	ジュウ ニユウ やわらか やわらかい	柔軟, 柔道, 懐柔 柔和, 柔弱 柔らかかだ 柔らかい	⇨ 軟らか ⇨ 軟らかい
重	ジュウ チョウ え おもい かさねる かさなる	重量, 重大, 二重 重畳, 慎重, 貴重 一重, 八重桜 重い, 重たい 重ねる, 重ね着 重なる	十重二十重 (とえはたえ)
従(従)	ジュウ ショウ ジュ したがう したがえる	従事, 従順, 服従 従容 従○位 従う 従える	
渋(澁)	ジュウ しぶ しぶい しぶる	渋滞, 苦渋 渋, 渋紙 渋い, 渋さ, 渋み 渋る	
銃	ジュウ	銃砲, 銃弾, 小銃	
獣(獸)	ジュウ けもの	獣類, 猛獣, 鳥獣 獣	
縦(縦)	ジュウ たて	縦横, 縦断, 操縦 縦	
叔	シュク	伯叔	叔父 (おじ) 叔母 (おば)
祝(祝)	シュク シュウ いわう	祝賀, 祝日, 慶祝 祝儀, 祝言 祝う	祝詞 (のりと)

宿	シュク やど やどる やどす	宿泊, 宿題, 合宿 宿, 宿屋 宿る, 雨宿り 宿す
淑	シュク	淑女, 貞淑, 私淑
肅(肅)	シュク	肅清, 静肅, 自肅
縮	シュク ちぢむ ちぢまる ちぢめる ちぢれる ちぢらす	縮小, 縮図, 短縮 縮む, 伸び縮み 縮まる 縮める 縮れる, 縮れ毛 縮らす
塾	ジュク	塾, 私塾
熟	ジュク うれる	熟練, 熟慮, 成熟 熟れる
出	シュツ スイ でる だす	出入, 出現, 提出 出納 出る, 出窓, 遠出 出す
述	ジュツ のべる	叙述, 陳述, 著述 述べる
術	ジュツ	術策, 技術, 芸術
俊	シュン	俊敏, 俊秀, 俊才
春	シュン はる	春季, 立春, 青春 春, 春めく
瞬	シュン またたく	瞬間, 瞬時, 一瞬 瞬く, 瞬き
旬	ジュン シュン	旬刊, 上旬 旬, 旬の野菜
巡	ジュン めぐる	巡回, 巡業, 一巡 巡る, 巡り歩く

盾	ジュン たて	矛盾 盾, 後ろ盾	
准	ジュン	准将, 批准	
殉	ジュン	殉死, 殉職, 殉難	
純	ジュン	純真, 純粹, 不純	
循	ジュン	循環, 因循	
順	ジュン	順序, 順調, 従順	
準	ジュン	準備, 基準, 標準	
潤	ジュン うるおう うるおす うるむ	潤色, 潤沢, 湿潤 潤う, 潤い 潤す 潤む	
遵	ジュン	遵守, 遵法	
処(處)	ショ	処置, 処罰, 処女	
初	ショ はじめ はじめて はつ うい そめる	初期, 初心者, 最初 初め 初めて〔副〕 初の受賞, 初雪, 初耳 初陣, 初々しい 書き初め, 出初め式	⇨ 始め
所	ショ ところ	所得, 住所, 近所 所, 台所	
書	ショ かく	書画, 書籍, 読書 書く	⇨ 描く
庶	ショ	庶民, 庶務	
暑(暑)	ショ あつい	暑気, 残暑, 避暑 暑い, 暑さ	⇨ 熱い
署(署)	ショ	署名, 署長, 警察署	

緒(緒)	ショ チヨ お	緒戦, 由緒, 端緒 情緒 緒, 鼻緒	「情緒」は, 「ジョウショ」とも。
諸(諸)	ショ	諸君, 諸国, 諸般	
女	ジョ ニヨ ニョウ おんな め	女子, 女流, 少女 女人, 天女, 善男善女 女房 女, 女心, 女らしい 女神, 女々しい	海女(あま) 乙女(おとめ)
如	ジョ ニヨ	欠如, 突如, 躍如 如実, 如来, 不如意	
助	ジョ たすける たすかる すけ	助力, 助監督, 救助 助ける, 助け 助かる, 大助かり 助太刀	
序	ジョ	序幕, 順序, 秩序	
叙(叙)	ジョ	叙述, 叙景, 叙勲	
徐	ジョ	徐行, 徐々に	
除	ジョ ジ のぞく	除外, 除数, 解除 掃除 除く	
小	ショウ ちいさい こ お	小心, 大小, 縮小 小さい, 小さな 小型, 小鳥, 小切手 小川, 小暗い	小豆(あずき)
升	ショウ ます	升, 升目	
少	ショウ すくない すこし	少年, 多少, 減少 少ない 少し	
召	ショウ めす	召喚, 国会の召集 召す, 召し上がる	

匠	ショウ	師匠, 巨匠, 意匠	
床	ショウ とこ ゆか	起床, 病床, 温床 床, 床の間, 寝床 床, 床下	
抄	ショウ	抄録, 抄本, 抄訳	
肖	ショウ	肖像, 不肖	
尚	ショウ	尚早, 高尚	
招	ショウ まねく	招待, 招致, 招請 招く, 招き	
承	ショウ うけたまわる	承知, 承諾, 継承 承る	
昇	ショウ のぼる	昇降, 昇進, 上昇 昇る	⇔ 上る, 登る
松	ショウ まつ	松竹梅, 白砂青松 松, 松原, 門松	
沼	ショウ ぬま	沼沢, 湖沼 沼, 沼地	
昭	ショウ	昭和	
宵	ショウ よい	徹宵 宵	
将(將)	ショウ	将来, 将棋, 大将	
消	ショウ きえる けす	消滅, 消極的, 費消 消える, 立ち消え 消す, 消しゴム	
症	ショウ	症状, 炎症, 重症	
祥(祥)	ショウ	発祥, 吉祥, 不祥事	
称(稱)	ショウ	称賛, 名称, 称する	

笑	ショウ わらう えむ	笑覧，微笑，談笑 笑う，大笑い ほくそ笑む，笑み	笑顔（えがお）
唱	ショウ となえる	唱歌，合唱，提唱 唱える	
商	ショウ あきなう	商売，商業，貿易商 商う，商い	
涉（渉）	ショウ	涉外，干涉，交渉	
章	ショウ	憲章，勲章，文章	
紹	ショウ	紹介	
訟	ショウ	訴訟	
勝	ショウ かつ まさる	勝敗，優勝，名勝 勝つ，勝ち，勝手 勝る，男勝り	
掌	ショウ	掌中，職掌，車掌	
晶	ショウ	結晶，水晶	
焼（焼）	ショウ やく やける	焼却，燃烧，全焼 焼く，炭焼き 焼ける，夕焼け	
焦	ショウ こげる こがす こがれる あせる	焦土，焦慮，焦心 焦げる，黒焦げ 焦がす 焦がれる 焦る，焦り	
硝	ショウ	硝石，硝酸	
粧	ショウ	化粧	
詔	ショウ みことのり	詔勅，詔書 詔	

証(證)	ショウ	証拠, 証明, 免許証	
象	ショウ ゾウ	象徴, 対象, 現象 象眼, 巨象	
傷	ショウ きず いたむ いためる	傷害, 負傷, 感傷 傷, 古傷, 傷つく 傷む 傷める	⇨ 痛む, 悼む ⇨ 痛める
奨(奨)	ショウ	奨励, 奨学金, 推奨	
照	ショウ てる てらす てれる	照明, 照会, 対照的 照る, 日照り 照らす 照れる	
詳	ショウ くわしい	詳細, 詳報, 未詳 詳しい, 詳しさ	
彰	ショウ	表彰, 顕彰	
障	ショウ さわる	障害, 障子, 故障 障る, 差し障り	
憧	ショウ あこがれる	憧憬 憧れる, 憧れ	「憧憬」は、「ドウケイ」とも。
衝	ショウ	衝突, 衝動, 折衝	
賞	ショウ	賞罰, 賞与, 懸賞	
償	ショウ つぐなう	償金, 弁償, 代償 償う, 償い	
礁	ショウ	岩礁, 暗礁, さんご礁	
鐘	ショウ かね	半鐘, 警鐘 鐘	

上	ジョウ シヨウ うえ うわ かみ あげる あがる のぼる のぼせる のぼす	上旬, 上昇, 地上 上人, 身上を潰す 上, 身の上 上着, 上積み 上, 川上 上げる, 売り上げ 上がる, 上がり 上る, 上り 上せる 上す	上手 (じょうず) 「身上」は, 「シンシヨウ」と「シンジョウ」とで, 意味が違う。 ⇨ 揚げる, 挙げる ⇨ 揚がる, 挙がる ⇨ 昇る, 登る
丈	ジョウ たけ	丈六, 丈夫な体 丈, 背丈	
冗	ジョウ	冗談, 冗長, 冗費	
条 (條)	ジョウ	条理, 条約, 箇条	
状 (狀)	ジョウ	状態, 白状, 免状	
乗 (乘)	ジョウ のる のせる	乗数, 乗車, 大乘的 乗る, 乗り物 乗せる	⇨ 載る ⇨ 載せる
城	ジョウ しろ	城内, 城下町, 落城 城, 城跡	茨城(いばらき)県, 宮城(みやぎ)県
浄 (淨)	ジョウ	浄化, 清浄, 不浄	
剩 (剩)	ジョウ	剰余, 過剰, 余剰	
常	ジョウ つね とこ	常備, 日常, 非常 常, 常に, 常々 常夏	
情	ジョウ セイ なさけ	情報, 情熱, 人情 風情 情け	
場	ジョウ ば	場内, 会場, 入場 場, 場所, 広場	

畳 (疊)	ジョウ たたむ たたみ	畳語, 重畳 畳む, 折り畳み 畳, 畳表, 青畳	
蒸	ジョウ むす むれる むらす	蒸気, 蒸発 蒸す, 蒸し暑い 蒸れる 蒸らす	
縄 (繩)	ジョウ なわ	縄文, 自縄自縛 縄, 縄張	
壤 (壤)	ジョウ	土壤	
嬢 (嬢)	ジョウ	令嬢, 愛嬢, お嬢さん	
錠	ジョウ	錠前, 錠剤, 手錠	
讓 (讓)	ジョウ ゆずる	讓渡, 讓歩, 謙讓 讓る, 親讓り	
醸 (醸)	ジョウ かもす	醸造, 醸成 醸す, 醸し出す	
色	シヨク シキ いろ	原色, 特色, 物色 色彩, 色調, 色欲 色, 桜色, 色づく	景色 (けしき)
拭	シヨク ふく ぬぐう	払拭 拭く 拭う	
食	シヨク ジキ くう くらう たべる	食事, 食料, 会食 断食 食う, 食べ物 食らう 食べる, 食べ物	
植	シヨク うえる うわる	植樹, 植物, 誤植 植える, 植木 植わる	

殖	ショク ふえる ふやす	生殖, 利殖, 学殖 殖える 殖やす	⇒ 増える ⇒ 増やす
飾	ショク かざる	装飾, 修飾, 服飾 飾る, 飾り	
触(觸)	ショク ふれる さわる	触媒, 触発, 接触 触れる 触る	
嘱(囑)	ショク	嘱託, 委嘱	
織	ショク シキ おる	織機, 染織, 紡織 組織 織る, 織物	
職	ショク	職業, 職務, 就職	
辱	ジョク はずかしめる	恥辱, 雪辱, 屈辱 辱める, 辱め	
尻	しり	尻, 尻込み, 目尻	尻尾(しっぽ)
心	シン こころ	心身, 感心, 中心 心, 心得る, 親心	心地(こころ)
申	シン もうす	申告, 申請, 内申書 申す, 申し上げる	
伸	シン のびる のばす のべる	伸縮, 屈伸, 追伸 伸びる, 背伸び 伸ばす 伸べる	⇒ 延びる ⇒ 延ばす ⇒ 延べる
臣	シン ジン	臣下, 君臣 大臣	
芯	シン	芯	
身	シン み	身体, 单身, 等身大 身, 身内, 親身	

辛	シン からい	辛苦, 辛酸, 香辛料 辛い, 辛み, 辛うじて	
侵	シン おかす	侵入, 侵害, 不可侵 侵す	⇨ 犯す, 冒す
信	シン	信用, 信頼, 通信	
津	シン つ	興味津々 津波, 津々浦々	
神(神)	シン ジン かみ かん こう	神聖, 神経, 精神 神社, 神宮, 神通力 神, 神様, 貧乏神 神主 神々しい	お神酒 (みき) 神楽 (かぐら) 神奈川 (かながわ) 県
唇	シン くちびる	口唇 唇	
娠	シン	妊娠	
振	シン ふる ふるう ふれる	振動, 振興, 不振 振る, 振り 振るう 振れる	⇨ 奮う, 震う
浸	シン ひたす ひたる	浸水, 浸透 浸す, 水浸し 浸る	
真(真)	シン ま	真偽, 写真, 純真 真南, 真新しい, 真っ先, 真ん中	真面目 (まじめ) 真っ赤 (まっか) 真っ青 (まっさお)
針	シン はり	針路, 運針, 秒針 針, 針金	
深	シン ふかい ふかまる ふかめる	深山, 深夜, 水深 深い, 深入り, 深み 深まる 深める	

紳	シン	紳士	
進	シン すすむ すすめる	進級, 進言, 前進 進む, 進み 進める	⇨ 勧める, 薦める
森	シン もり	森林, 森閑, 森厳 森	
診	シン みる	診察, 診療, 往診 診る	⇨ 見る
寢(寝)	シン ねる ねかす	寝室, 寝具, 就寝 寝る, 寝入る, 昼寝 寝かす	
慎(愼)	シン つつしむ	慎重, 謹慎 慎む, 慎み	⇨ 謹む
新	シン あたらしい あらた にい	新旧, 新聞, 革新 新しい, 新しさ, 新しがる 新ただ 新妻, 新盆	
審	シン	審判, 審議, 不審	
震	シン ふるう ふるえる	震動, 震災, 地震 震う, 身震い 震える, 震え	⇨ 奮う, 振るう
薪	シン たきぎ	薪炭, 薪水 薪	
親	シン おや したしい したしむ	親族, 親友, 肉親 親, 親子, 父親 親しい, 親しさ 親しむ	
人	ジン ニン ひと	人道, 人員, 成人 人間, 人情, 人形 人, 人手, 旅人	玄人 (くろうと) 素人 (しろうと) 仲人 (なこうど) 若人 (わこうど) 大人 (おとな) 一人 (ひとり) 二人 (ふたり)

刃	ジン は	白刃, 凶刃, 自刃 刃, 刃物, 両刃	
仁	ジン ニ	仁義, 仁術 仁王	
尽(盡)	ジン つくす つきる つかす	尽力, 無尽蔵 尽くす, 心尽くし 尽きる 愛想を尽かす	
迅	ジン	迅速, 疾風迅雷	
甚	ジン はなはだ はなはだしい	甚大, 激甚, 幸甚 甚だ 甚だしい	
陣	ジン	陣頭, 陣痛, 円陣	
尋	ジン たずねる	尋問, 尋常, 千尋 尋ねる, 尋ね人	⇨ 訪ねる
腎	ジン	腎臓, 肝腎	「肝腎」は, 「肝心」とも書く。
須	ス	必須	
図(圖)	ズ ト はかる	図画, 図表, 地図 図書, 意図, 壮図 図る	⇨ 計る, 測る, 量る, 謀る
水	スイ みず	水分, 水陸, 海水 水, 水色, 水浴び	清水(しみず)
吹	スイ ふく	吹奏, 吹鳴, 鼓吹 吹く	息吹(いぶき) 吹雪(ふぶき) ⇨ 噴く
垂	スイ たれる たらす	垂直, 懸垂, 胃下垂 垂れる, 雨垂れ 垂らす	
炊	スイ たく	炊事, 自炊, 雑炊 炊く, 飯炊き	

帥	スイ	統帥, 元帥	
粹(粹)	スイ いき	粹人, 純粹, 精粹 粹	
衰	スイ おとろえる	衰弱, 盛衰, 老衰 衰える, 衰え	
推	スイ おす	推進, 推薦 推す	⇒ 押す
酔(酔)	スイ よう	酔漢, 麻醉, 心酔 酔う, 酔い, 二日酔い	
遂	スイ とげる	遂行, 未遂, 完遂 遂げる	
睡	スイ	睡眠, 熟睡, 午睡	
穂(穂)	スイ ほ	穂状, 出穂期 穂, 稲穂	
随(隨)	ズイ	随行, 随意, 追隨	
髓(髓)	ズイ	骨髓, 脳髓, 真髓	
枢(樞)	スウ	枢軸, 枢要, 中枢	
崇	スウ	崇拜, 崇高	
数(數)	スウ ス かず かぞえる	数字, 数量, 年数 人数 数 数える, 数え年	数珠 (じゆず) 数寄屋・数奇屋 (すきや) 「人数」は, 「ニンズウ」とも。
据	すえる すわる	据える, 据え置く 据わる, 据わり	⇒ 座る
杉	すぎ	杉, 杉並木	
裾	すそ	裾, 裾野	
寸	スン	寸法, 寸暇, 一寸先	

瀬(瀬)	せ	瀬, 浅瀬, 立つ瀬	
是	ぜ	是非, 是認, 国是	
井	セイ ショウ い	油井, 市井 天井 井戸	
世	セイ セ よ	世紀, 時世, 処世 世界, 世間, 出世 世, 世の中	
正	セイ ショウ ただしい ただす まさ	正義, 正誤, 訂正 正直, 正面, 正月 正しい, 正しさ 正す 正に, 正夢	
生	セイ ショウ いきる いかす いける うまれる うむ おう はえる はやす き なま	生活, 発生, 先生 生滅, 一生, 誕生 生きる, 長生き 生かす 生ける, 生け捕り 生まれる, 生まれ 生む 生い立ち, 生い茂る 生える, 芽生える 生やす 生糸, 生地, 生一本 生の野菜, 生水, 生々しい	芝生 (しばふ) 弥生 (やよい) ⇨ 産まれる ⇨ 産む
成	セイ ジョウ なる なす	成功, 完成, 賛成 成就, 成仏 成る, 成り立つ 成す, 成し遂げる	
西	セイ サイ にし	西暦, 西部, 北西 西国, 東西 西, 西日	
声(聲)	セイ ショウ こえ こわ	声楽, 声援, 名声 大音声 声, 呼び声, 歌声 声色	

制	セイ	制度, 制限, 統制	
姓	セイ ショウ	姓名, 改姓, 同姓 百姓	
征	セイ	征服, 遠征, 出征	
性	セイ ショウ	性質, 理性, 男性 性分, 相性, 根性	
青	セイ ショウ あお あおい	青天, 青銅, 青年 緑青, 紺青, 群青 青, 青ざめる 青い, 青さ	真っ青 (まっさお)
齊 (齊)	セイ	齊唱, 一齊	
政	セイ ショウ まつりごと	政治, 行政, 家政 摂政 政	
星	セイ ショウ ほし	星座, 流星, 衛星 明星 星, 黒星	
牲	セイ	犠牲	
省	セイ ショウ かえりみる はぶく	反省, 内省, 帰省 省略, 各省 省みる 省く	⇨ 顧みる
凄	セイ	凄惨, 凄絶	
逝	セイ ゆく いく	逝去, 急逝, 長逝 逝く 逝く	⇨ 行く ⇨ 行く
清	セイ ショウ きよい きよまる きよめる	清潔, 清算, 肅清 六根清浄 清い, 清らかだ 清まる 清める	清水 (しみず)

盛	セイ ジョウ もる さかる さかん	盛大, 隆盛, 全盛 繁盛 盛る, 盛り上がる 燃え盛る, 盛り, 花盛り 盛んだ, 盛んに	
婿	セイ むこ	女婿 婿, 花婿	
晴	セイ はれる はらす	晴天, 晴雨, 快晴 晴れる, 晴れ, 晴れやかだ 晴らす, 気晴らし	
勢	セイ いきおい	勢力, 優勢, 情勢 勢い	
聖	セイ	聖書, 聖人, 神聖	
誠	セイ まこと	誠実, 誠意, 至誠 誠, 誠に	
精	セイ ショウ	精米, 精密, 精力 精進, 不精	
製	セイ	製造, 製鉄, 鉄製	
誓	セイ ちかう	誓約, 誓詞, 宣誓 誓う, 誓い	
静(靜)	セイ ジョウ しず しずか しずまる しずめる	静止, 静穏, 安静 静脈 静々と, 静けさ 静かだ 静まる 静める	⇨ 鎮まる ⇨ 鎮める, 沈める
請	セイ シン こう うける	請求, 請願, 申請 普請 請う 請ける, 請負, 下請け	⇨ 乞う ⇨ 受ける
整	セイ ととのえる ととのう	整理, 整列, 調整 整える 整う	⇨ 調える ⇨ 調う

醒	セイ	覚醒	
税	ゼイ	税金, 免税, 関税	
夕	セキ ゆう	今夕, 一朝一夕 夕方, 夕日, 夕べ	七夕 (たなぼた)
斥	セキ	斥候, 排斥	
石	セキ シャク コク いし	石材, 岩石, 宝石 磁石 石高, 千石船 石, 小石	
赤	セキ シャク あか あかい あからむ あからめる	赤道, 赤貧, 発赤 赤銅 赤, 赤字, 赤ん坊 赤い 赤らむ 赤らめる	真っ赤 (まっか)
昔	セキ シャク むかし	昔日, 昔年, 昔時 今昔 昔, 昔話	
析	セキ	析出, 分析, 解析	
席	セキ	席上, 座席, 出席	寄席 (よせ)
脊	セキ	脊髓, 脊柱	
隻	セキ	隻手, 数隻	
惜	セキ おしい おしむ	惜敗, 痛惜, 愛惜 惜しい 惜しむ, 負け惜しみ	
戚	セキ	親戚	
責	セキ せめる	責務, 責任, 職責 責める, 責め	
跡	セキ あと	追跡, 旧跡, 遺跡 跡, 足跡, 屋敷跡	⇒後, 痕

積	セキ つむ つもる	積雪，蓄積，面積 積む，下積み 積もる，見積書	
績	セキ	紡績，成績，業績	
籍	セキ	書籍，戸籍，本籍	
切	セツ サイ きる きれる	切断，親切，切に 一切 切る 切れる	⇒ 斬る
折	セツ おる おり おれる	折衷，折衝，屈折 折る，折り紙，折り箱 折，……する折 折れる，名折れ	
拙	セツ つたない	拙劣，拙速，巧拙 拙い	
窃(竊)	セツ	窃盗，窃取	
接	セツ つぐ	接触，接待，直接 接ぐ，接ぎ木，骨接ぎ	⇒ 継ぐ
設	セツ もうける	設立，設備，建設 設ける	
雪	セツ ゆき	雪辱，降雪，積雪 雪，雪解け，初雪	雪崩 (なだれ) 吹雪 (ふぶき)
撰(攝)	セツ	撰取，撰生	
節(節)	セツ セチ ふし	節約，季節，関節 お節料理 節，節穴	
説	セツ ゼイ とく	説明，小説，演説 遊説 説く	
舌	ゼツ した	舌端，弁舌，筆舌 舌，猫舌，二枚舌	

絶	ゼツ たえる たやす たつ	絶妙, 絶食, 断絶 絶える 絶やす 絶つ	⇒ 裁つ, 断つ
千	セン ち	千円, 千人力, 千差万別 千草, 千々に	
川	セン かわ	川柳, 河川 川, 川岸, 小川	川原 (かわら) ⇒ 河
仙	セン	仙骨, 仙人, 酒仙	
占	セン しめる うらなう	占拠, 占星術, 独占 占める, 買い占め 占う, 占い	
先	セン さき	先方, 先生, 率先 先, 先立つ	
宣	セン	宣言, 宣誓, 宣伝	
専(專)	セン もっぱら	専門, 専属, 専用 専ら	
泉	セン いずみ	泉水, 源泉, 温泉 泉	
浅(淺)	セン あさい	浅薄, 浅学, 深浅 浅い, 浅瀬, 遠浅	
洗	セン あらう	洗面, 洗練, 洗剤 洗う	
染	セン そめる そまる しみる しみ	染色, 染料, 汚染 染める, 染め物 染まる 染みる, 油染みる 染み, 染み抜き	
扇	セン おうぎ	扇子, 扇風機, 扇状地 扇, 舞扇	

栓	セン	栓, 給水栓, 消火栓	
旋	セン	旋回, 旋律, 周旋	
船	セン ふね ふな	船舶, 乗船, 汽船 船, 大船, 親船 船旅, 船賃	⇔ 舟
戦(戰)	セン いくさ たたかう	戦争, 苦戦, 論戦 戦, 勝ち戦 戦う, 戦い	⇔ 闘う
煎	セン いる	煎茶 煎る, 煎り豆	* [(付) 第2の3参照]
羨	セン うらやむ うらやましい	羨望 羨む 羨ましい	
腺	セン	前立腺, 涙腺	
詮	セン	詮索, 所詮	* [(付) 第2の3参照]
践(踐)	セン	実践	
箋	セン	処方箋, 便箋	* [(付) 第2の3参照]
銭(錢)	セン ぜに	銭湯, 金銭 銭, 銭入れ, 小銭	
潜(潛)	セン ひそむ もぐる	潜水, 潜在的, 沈潜 潜む 潜る, 潜り込む	
線	セン	線路, 点線, 光線	
遷	セン	遷延, 遷都, 変遷	
選	セン えらぶ	選択, 選挙, 当選 選ぶ	
薦	セン すすめる	推薦, 自薦 薦める	⇔ 進める, 勧める

織(織)	セン	織細, 織維, 化織	
鮮	セン あざやか	鮮魚, 鮮明, 新鮮 鮮やかだ	
全	ゼン まったく すべて	全部, 全国, 完全 全く, 全うする 全て	
前	ゼン まえ	前後, 以前, 空前 前, 前向き, 名前	
善	ゼン よい	善悪, 善処, 慈善 善い	⇒ 良い
然	ゼン ネン	当然, 自然, 必然 天然	
禪(禪)	ゼン	禪宗, 禪寺, 座禪	
漸	ゼン	漸次, 漸進的, 東漸	
膳	ゼン	膳, 配膳	
繕	ゼン つくろう	修繕, 営繕 繕う, 繕い	
狙	ソ ねらう	狙撃 狙う, 狙い	
阻	ソ はばむ	阻止, 阻害, 險阻 阻む	
祖(祖)	ソ	祖父, 祖述, 元祖	
租	ソ	租税, 公租公課	
素	ソ ス	素材, 元素, 平素 素顔, 素手, 素性	素人(しろうと)
措	ソ	措置, 措辞, 举措	
粗	ソ あらい	粗密, 粗野, 精粗 粗い	⇒ 荒い

組	ソ くむ くみ	組織, 組成, 改組 組む, 組み込む 組, 組長, 赤組	
疎	ソ うとい うとむ	疎密, 疎外, 親疎 疎い 疎む, 疎ましい	
訴	ソ うったえる	訴訟, 告訴, 哀訴 訴える, 訴え	
塑	ソ	塑像, 彫塑, 可塑性	
遡[遡]	ソ さかのぼる	遡及, 遡上 遡る	[遡] = 許容字体, * [(付) 第2の1 参照]
礎	ソ いしずえ	礎石, 基礎, 定礎 礎	
双(雙)	ソウ ふた	双肩, 双方, 無双 双子, 双葉	⇨ 二
壮(壯)	ソウ	壮大, 壯健, 強壯	
早	ソウ サッ はやい はやまる はやめる	早朝, 早晚, 早々に 早速, 早急 早い, 早口, 素早い 早まる 早める	早乙女 (さおとめ) 早苗 (さなえ) ⇨ 速い ⇨ 速まる ⇨ 速める
争(爭)	ソウ あらそう	爭議, 競争, 紛争 争う, 争い	
走	ソウ はしる	走行, 競走, 滑走 走る, 先走る	師走 (しわす)
奏	ソウ かなでる	奏楽, 演奏, 合奏 奏でる	
相	ソウ ショウ あい	相当, 相談, 真相 首相, 宰相 相手, 相宿	相撲 (すもう)

莊(莊)	ソウ	莊嚴, 莊重, 別莊	
草	ソウ くさ	草案, 雜草, 牧草 草, 草花, 語り草	草履(ぞうり)
送	ソウ おくる	送別, 放送, 運送 送る, 見送り	⇒ 贈る
倉	ソウ くら	倉庫, 穀倉 倉, 倉敷料	⇒ 蔵
搜(搜)	ソウ さがす	搜索, 捜査 搜す	⇒ 探す
挿(插)	ソウ さす	挿入, 挿話 挿す, 挿絵, 挿し木	⇒ 差す, 刺す, 指す
桑	ソウ くわ	桑園 桑, 桑畑	
巢(巢)	ソウ す	営巢, 卵巢, 病巢 巢, 巢箱, 巢立つ	
掃	ソウ はく	掃除, 清掃, 一掃 掃く	
曹	ソウ	法曹, 法曹界, 陸曹	
曾(曾)	ソウ ゾ	曾祖父, 曾孫 未曾有	
爽	ソウ さわやか	爽快 爽やかだ	
窓	ソウ まど	車窓, 同窓, 深窓 窓, 窓口, 出窓	
創	ソウ つくる	創造, 独創, 刀創 創る	⇒ 作る, 造る
喪	ソウ も	喪失 喪, 喪服, 喪主	

瘦(瘦)	ソウ やせる	瘦身 痩せる	
葬	ソウ ほうむる	葬儀, 埋葬, 会葬 葬る	
装(装)	ソウ ショウ よそおう	装置, 服装, 変装 装束, 衣装 装う, 装い	
僧(僧)	ソウ	僧院, 高僧, 尼僧	
想	ソウ ソ	想像, 感想, 予想 愛想	
層(層)	ソウ	層雲, 高層, 断層	
総(總)	ソウ	総合, 総意, 総括	
遭	ソウ あう	遭遇, 遭難 遭う	⇨ 合う, 会う
槽	ソウ	水槽, 浴槽	
踪	ソウ	失踪	
操	ソウ みさお あやつる	操縦, 操作, 節操 操 操る, 操り人形	
燥	ソウ	乾燥, 焦燥, 高燥	
霜	ソウ しも	霜害, 晩霜 霜, 霜柱, 初霜	
騒(騒)	ソウ さわぐ	騒動, 騒音, 物騒 騒ぐ, 騒ぎ, 騒がしい	
藻	ソウ も	藻類, 海藻, 詞藻 藻	
造	ゾウ つくる	造船, 造花, 構造 造る	⇨ 作る, 創る

像	ゾウ	肖像, 現像, 想像	
増(増)	ゾウ ます ふえる ふやす	増減, 増加, 激増 増す, 水増し 増える 増やす	⇒ 殖える ⇒ 殖やす
憎(憎)	ゾウ にくむ にくい にくらしい にくしみ	憎悪, 愛憎 憎む 憎い, 憎さ 憎らしい 憎しみ	
蔵(藏)	ゾウ くら	蔵書, 貯蔵, 土蔵 蔵, 酒蔵	⇒ 倉
贈(贈)	ゾウ ソウ おくる	贈与, 贈呈, 贈答 寄贈 贈る, 贈り物	「寄贈」は, 「キゾウ」とも。 ⇒ 送る
臓(臟)	ゾウ	臓器, 内臓, 心臓	
即(卽)	ソク	即応, 即席, 即興	
束	ソク たば	束縛, 結束, 約束 束, 花束, 束ねる	
足	ソク あし たりる たる たす	足跡, 遠足, 補足 足, 足音, 素足 足りる 舌足らず 足す	足袋 (たび) ⇒ 脚
促	ソク うながす	促進, 促成, 催促 促す	
則	ソク	法則, 鉄則, 変則	
息	ソク いき	休息, 消息, 子息 息, 息巻く, 吐息	息吹 (いぶき) 息子 (むすこ)
捉	ソク とらえる	捕捉 捉える	⇒ 捕らえる

速	ソク はやい はやめる はやまる すみやか	速度, 敏速, 時速 速い, 速さ 速める 速まる 速やかだ	⇨ 早い ⇨ 早める ⇨ 早まる
側	ソク がわ	側面, 側近, 側壁 側, 裏側, 片側	「かわ」とも。
測	ソク はかる	測量, 目測, 推測 測る	⇨ 計る, 量る, 図る
俗	ゾク	俗事, 風俗, 民俗	
族	ゾク	一族, 家族, 民族	
属(屬)	ゾク	属性, 従属, 金属	
賊	ゾク	賊軍, 盜賊	
続(續)	ゾク つづく つづける	続出, 続行, 連続 続く, 続き 続ける	
卒	ソツ	卒業, 卒中, 兵卒	
率	ソツ リツ ひきいる	率先, 引率, 軽率 比率, 能率, 百分率 率いる	
存	ソン ゾン	存在, 存続, 既存 存分, 保存, 存じます	
村	ソン むら	村長, 村落, 農村 村, 村里, 村芝居	
孫	ソン まご	子孫, 嫡孫 孫	
尊	ソン たつとい とうとい たつとぶ とうとぶ	尊敬, 尊大, 本尊 尊い 尊い 尊ぶ 尊ぶ	⇨ 貴い ⇨ 貴い ⇨ 貴ぶ ⇨ 貴ぶ

損	ソン そこなう そこねる	損失, 欠損, 破損 損なう, 見損なう 損ねる	
遜 [遜]	ソン	謙遜, 不遜	[遜] = 許容字体, * [(付) 第2の1 参照]
他	タ ほか	他国, 自他, 排他的 他, ○○の他	⇨ 外
多	タ おおい	多少, 多数, 雑多 多い	
汰	タ	沙汰	
打	ダ うつ	打撃, 打破, 乱打 打つ	⇨ 撃つ, 討つ
妥	ダ	妥当, 妥結, 妥協	
唾	ダ つば	唾液, 唾棄 唾, 眉唾	固唾 (かたず) 「唾」は, 「つばき」とも。
墮 (墮)	ダ	墮落	
惰	ダ	惰眠, 惰気, 怠惰	
駄	ダ	駄菓子, 駄作, 無駄	
太	タイ タ ふとい ふとる	太陽, 太鼓, 皇太子 丸太 太い 太る	太刀 (たち)
対 (對)	タイ ツイ	対立, 絶対, 反対 対句, 一对	
体 (體)	タイ テイ からだ	体格, 人体, 主体 体裁, 風体 体, 体つき	
耐	タイ たえる	耐久, 耐火, 忍耐 耐える	⇨ 堪える

待	タイ まつ	待機, 待遇, 期待 待つ, 待ち遠しい	
怠	タイ おこたる なまける	怠惰, 怠慢 怠る 怠ける, 怠け者	
胎	タイ	胎児, 受胎, 母胎	
退	タイ しりぞく しりぞける	退却, 退屈, 進退 退く 退ける	立ち退く (たちのく)
帯(帶)	タイ おびる おび	携帯, 地帯, 連帯 帯びる 帯, 角帯	
泰	タイ	泰然, 泰斗, 安泰	
堆	タイ	堆積	
袋	タイ ふくろ	風袋, 郵袋 袋, 紙袋	足袋 (たび)
逮	タイ	逮捕, 逮夜	
替	タイ かえる かわる	代替 替える, 両替 替わる	為替 (かわせ) ⇔ 換える, 代える, 変える ⇔ 換わる, 代わる, 変わる
貸	タイ かす	貸借, 貸与, 賃貸 貸す, 貸し	
隊	タイ	隊列, 軍隊, 部隊	
滯(滯)	タイ とどこおる	滞在, 滞貨, 沈滞 滞る	
態	タイ	態勢, 形態, 容態	
戴	タイ	戴冠, 頂戴	

大	ダイ タイ おお おおきい おおいに	大小, 大胆, 拡大 大衆, 大した, 大して 大型, 大通り, 大水 大きい, 大きさ, 大きな 大いに	大人 (おとな) 大和 (やまと)
代	ダイ タイ かわる かえる よ しろ	代理, 世代, 現代 代謝, 交代 代わる, 代わり 代える 代, 神代 代物, 苗代	⇨ 換わる, 替わる, 変わる ⇨ 換える, 替える, 変える
台(臺)	ダイ タイ	台地, 灯台, 一台 台風, 舞台	
第	ダイ	第一, 第三者, 及第	
題	ダイ	題名, 問題, 出題	
滝(瀧)	たき	滝, 滝つぼ	
宅	タク	宅地, 自宅, 帰宅	
択(擇)	タク	選択, 採択, 二者択一	
沢(澤)	タク さわ	光沢, 潤沢 沢	
卓	タク	卓越, 卓球, 食卓	
拓	タク	拓本, 開拓	
託	タク	託宣, 委託, 結託	
濯	タク	洗濯	
諾	ダク	諾否, 承諾, 快諾	
濁	ダク にごる にごす	濁流, 濁音, 清濁 濁る, 濁り 濁す	

但	ただし	但し, 但し書き	
達	タツ	達人, 調達, 伝達	友達 (ともだち)
脱	ダツ ぬぐ ぬげる	脱衣, 脱出, 虚脱 脱ぐ 脱げる	
奪	ダツ うばう	奪回, 奪取, 争奪 奪う, 奪い取る	
棚	たな	棚, 戸棚, 大陸棚	
誰	だれ	誰	
丹	タン	丹念, 丹精	
旦	タン ダン	一旦, 元旦 旦那	
担(擔)	タン かつぐ になう	担当, 担架, 負担 担ぐ 担う	
单(單)	タン	单独, 单位, 简单	
炭	タン すみ	炭鉱, 木炭, 石炭 炭, 炭火, 消し炭	
胆(膽)	タン	大胆, 落胆, 魂胆	
探	タン さぐる さがす	探求, 探訪, 探知 探る, 探り 探す	⇔ 探す
淡	タン あわい	淡水, 濃淡, 冷淡 淡い, 淡雪	
短	タン みじかい	短歌, 短所, 長短 短い	
嘆(嘆)	タン なげく なげかわしい	嘆息, 嘆願, 驚嘆 嘆く, 嘆き 嘆かわしい	

端	タン はし は はた	端正, 末端, 極端 端, 片端 端数, 半端, 軒端 端, 川端, 道端	
綻	タン ほころびる	破綻 綻びる	
誕	タン	誕生, 生誕	
鍛	タン きたえる	鍛錬 鍛える, 鍛え方	鍛冶 (かじ)
団 (團)	ダン トン	団結, 団地, 集団 布団	
男	ダン ナン おとこ	男子, 男女, 男性 長男, 美男, 善男善女 男, 男らしい	
段	ダン	段落, 階段, 手段	
断 (斷)	ダン たつ ことわる	断絶, 断定, 判断 断つ, 塩断ち 断る, 断り	⇒ 裁つ, 絶つ
弾 (彈)	ダン ひく はずむ たま	弾力, 弾圧, 爆弾 弾く, 弾き手 弾む, 弾み 弾	⇒ 引く ⇒ 玉, 球
暖	ダン あたたか あたたかい あたたまる あたためる	暖流, 暖房, 温暖 暖かだ 暖かい 暖まる 暖める	⇒ 温か ⇒ 温かい ⇒ 温まる ⇒ 温める
談	ダン	談話, 談判, 相談	
壇	ダン タン	壇上, 花壇, 文壇 土壇場	
地	チ ジ	地下, 天地, 境地 地面, 地震, 地元	心地 (こち) 意気地 (いくじ)

池	チ いけ	貯水池，電池 池，古池	
知	チ しる	知識，知人，通知 知る，物知り	
値	チ ね あたい	価値，数值，絶対値 値，値段 値，値する	⇨ 価
恥	チ はじる はじ はじらう はずかしい	恥辱，無恥，破廉恥 恥じる，恥じ入る 恥，生き恥 恥じらう，恥じらい 恥ずかしい	
致	チ いたす	誘致，合致，風致 致す	
遅(遅)	チ おくれる おくらす おそい	遅延，遅刻，遅速 遅れる，遅れ 遅らす 遅い，遅咲き	⇨ 後れる
痴(癡)	チ	痴情，愚痴	
稚	チ	稚魚，稚拙，幼稚	稚児(ちご)
置	チ おく	位置，放置，処置 置く	
緻	チ	緻密，精緻	
竹	チク たけ	竹林，竹馬の友，爆竹 竹，竹やぶ，さお竹	竹刀(しない)
畜	チク	畜産，牧畜，家畜	
逐	チク	逐次，逐一，駆逐	
蓄	チク たくわえる	蓄積，蓄電池，貯蓄 蓄える，蓄え	

築	チク きづく	築港, 建築, 改築 築く, 築き上げる	築山 (つきやま)
秩	チツ	秩序	
窒	チツ	窒息, 窒素	
茶	チャ サ	茶色, 茶番劇, 番茶 茶菓, 茶話会, 喫茶	
着	チャク ジャク きる きせる つく つける	着用, 着手, 土着 愛着, 執着 着る, 着物, 晴れ着 着せる, お仕着せ 着く, 船着き場 着ける	「愛着」, 「執着」は, 「アイチャク」, 「シュウチャク」とも。 ⇒ 付く, 就く ⇒ 付ける, 就ける
嫡	チャク	嫡子, 嫡流	
中	チュウ ジュウ なか	中央, 中毒, 胸中 〇〇中 中, 中庭, 真ん中	⇒ 仲
仲	チュウ なか	仲介, 仲裁, 伯仲 仲, 仲間	仲人 (なこうど) ⇒ 中
虫(蟲)	チュウ むし	虫類, 幼虫, 害虫 虫, 毛虫	
沖	チュウ おき	沖積層, 冲天, 沖する 沖	
宙	チュウ	宙返り, 宇宙	
忠	チュウ	忠実, 忠勤, 誠忠	
抽	チュウ	抽出, 抽象	
注	チュウ そそぐ	注入, 注意, 発注 注ぐ	
昼(晝)	チュウ ひる	昼夜, 昼食, 白昼 昼, 昼寝, 真昼	

柱	チュウ はしら	支柱, 円柱, 電柱 柱, 帆柱, 大黒柱	
衷	チュウ	衷心, 折衷, 苦衷	
酎	チュウ	焼酎	
鑄(鑄)	チュウ いる	鑄造, 鑄鉄, 改鑄 鑄る, 鑄物, 鑄型	
駐	チュウ	駐車, 駐在, 進駐	
著(著)	チョ あらわす いちじるしい	著名, 著作, 顕著 著す 著しい, 著しさ	⇨ 表す, 現す
貯	チョ	貯蓄, 貯金, 貯水池	
丁	チョウ テイ	丁数, 落丁, 二丁目 丁字路, 甲乙丙丁	
弔	チョウ とむらう	弔問, 弔辞, 慶弔 弔う, 弔い	
庁(廳)	チョウ	庁舎, 官庁, 県庁	
兆	チョウ きざす きざし	兆候, 前兆, 億兆 兆す 兆し	
町	チョウ まち	町会, 市町村 町, 町外れ	⇨ 街
長	チョウ ながい	長女, 長所, 成長 長い, 長さ	⇨ 永い
挑	チョウ いどむ	挑戦, 挑発 挑む	
帳	チョウ	帳面, 帳簿, 通帳	蚊帳 (かや)
張	チョウ はる	張力, 拡張, 主張 張る, 欲張る, 引っ張る	⇨ 貼る

彫	チヨウ ほる	彫刻, 彫塑, 木彫 彫る, 木彫り	
眺	チヨウ ながめる	眺望 眺める, 眺め	
釣	チヨウ つる	釣果, 釣魚, 釣艇 釣る, 釣り, 釣り合い	
頂	チヨウ いただく いただき	頂上, 頂点, 絶頂 頂く, 頂き物 頂	「山頂」の意。
鳥	チヨウ とり	鳥類, 野鳥, 一石二鳥 鳥, 鳥居, 小鳥	鳥取 (とっとり) 県
朝	チヨウ あさ	朝食, 早朝, 今朝 朝, 朝日, 毎朝	今朝 (けさ)
貼	チヨウ はる	貼付 貼る	「貼付」は, 「テンプ」とも。 ⇔ 張る
超	チヨウ こえる こす	超越, 超過, 入超 超える 超す	⇔ 越える ⇔ 越す
腸	チヨウ	腸炎, 大腸, 胃腸	
跳	チヨウ はねる とぶ	跳躍 跳ねる 跳ぶ, 縄跳び	⇔ 飛ぶ
徴(徴)	チヨウ	徴収, 特徴, 象徴	
嘲	チヨウ あざける	嘲笑, 自嘲 嘲る	* [(付) 第2の3参照]
潮	チヨウ しお	潮流, 満潮, 風潮 潮, 潮風	
澄	チヨウ すむ すます	清澄 澄む, 上澄み 澄ます, 澄まし顔	

調	<p>チョウ しらべる ととのう ととのえる</p>	<p>調和, 調査, 好調 調べる, 調べ 調う 調える</p>	<p>⇨ 整う ⇨ 整える</p>
聴(聽)	<p>チョウ きく</p>	<p>聴覚, 聴衆, 傍聴 聴く</p>	<p>⇨ 聞く</p>
懲(懲)	<p>チョウ こりる こらす こらしめる</p>	<p>懲罰, 懲戒, 懲役 懲りる, 性懲りもなく 懲らす 懲らしめる</p>	
直	<p>チョク ジキ ただちに なおす なおる</p>	<p>直立, 直接, 実直 直訴, 直筆, 正直 直ちに 直す, 手直し 直る, 伸直り</p>	<p>⇨ 治す ⇨ 治る</p>
勅(敕)	<p>チョク</p>	<p>勅語, 勅使, 詔勅</p>	
捗	<p>チョク</p>	<p>進捗</p>	<p>* [(付) 第2の3参照]</p>
沈	<p>チン しずむ しずめる</p>	<p>沈滞, 沈黙, 浮沈 沈む, 浮き沈み 沈める</p>	<p>⇨ 静める, 鎮める</p>
珍	<p>チン めずらしい</p>	<p>珍客, 珍重, 珍妙 珍しい, 珍しさ, 珍しがる</p>	
朕	<p>チン</p>		
陳	<p>チン</p>	<p>陳列, 陳謝, 開陳</p>	
賃	<p>チン</p>	<p>賃金, 賃上げ, 運賃</p>	
鎮(鎮)	<p>チン しずめる しずまる</p>	<p>鎮座, 鎮静, 重鎮 鎮める 鎮まる</p>	<p>⇨ 静める, 沈める ⇨ 静まる</p>
追	<p>ツイ おう</p>	<p>追跡, 追放, 訴追 追う</p>	

椎	ツイ	椎間板, 脊椎	
墜	ツイ	墜落, 墜死, 擊墜	
通	ツウ ツ とおる とおす かよう	通行, 通読, 普通 通夜 通る, 通り 通す, 通し 通う, 通い	
痛	ツウ いたい いたむ いためる	痛快, 苦痛, 心痛 痛い, 痛さ 痛む, 痛み, 痛ましい 痛める	⇒ 傷む, 悼む ⇒ 傷める
塚(塚)	つか	塚, 貝塚	
漬	つける つかる	漬ける, 漬物 漬かる	
坪	つぼ	坪数, 建坪	
爪	つめ つま	爪, 生爪 爪先, 爪弾く	
鶴	つる	鶴, 千羽鶴	
低	テイ ひくい ひくめる ひくまる	低級, 低気圧, 高低 低い, 低さ 低める 低まる	
呈	テイ	呈上, 進呈, 贈呈	
廷	テイ	宮廷, 法廷, 出廷	
弟	テイ ダイ デ おとうと	弟妹, 義弟, 子弟 兄弟 弟子 弟	

定	テイ ジョウ さだめる さだまる さだか	定価, 安定, 決定 定石, 定紋, 必定 定める, 定め 定まる 定かだ	
底	テイ そこ	底流, 海底, 到底 底, 奥底	
抵	テイ	抵抗, 抵触, 大抵	
邸	テイ	邸宅, 邸内, 私邸	
亭	テイ	亭主, 料亭	
貞	テイ	貞淑, 貞操, 貞節	
帝	テイ	帝王, 帝国, 皇帝	
訂	テイ	訂正, 改訂	
庭	テイ にわ	庭園, 校庭, 家庭 庭, 庭先	
遞(遞)	テイ	遞信, 遞送, 遞減	
停	テイ	停止, 停車, 調停	
偵	テイ	偵察, 探偵, 内偵	
堤	テイ つつみ	堤防, 防波堤 堤	
提	テイ さげる	提供, 提案, 前提 提げる, 手提げ	⇨ 下げる
程	テイ ほど	程度, 日程, 過程 程, 程遠い, 身の程	
艇	テイ	艦艇, 舟艇, 競艇	
締	テイ しまる しめる	締結 締まる, 締まり 締める, 締め切る, 引き締め	⇨ 閉まる, 絞まる ⇨ 閉める, 絞める

諦	テイ あきらめる	諦観, 諦念 諦める
泥	デイ どろ	泥土, 雲泥, 拘泥 泥, 泥沼, 泥棒
的	テキ まと	的中, 目的, 科学的 的, 的外れ
笛	テキ ふえ	汽笛, 警笛, 牧笛 笛, 口笛
摘	テキ つむ	摘要, 摘発, 指摘 摘む, 摘み草
滴	テキ しづく したたる	水滴, 点滴, 一滴 滴 滴る, 滴り
適	テキ	適切, 適度, 快適
敵	テキ かたき	敵, 敵意, 匹敵 敵, 敵役, 商売敵
溺	デキ おぼれる	溺愛, 溺死 溺れる
迭	テツ	更迭
哲	テツ	哲学, 哲人, 先哲
鉄(鐵)	テツ	鉄道, 鉄筋, 鋼鉄
徹	テツ	徹底, 徹夜, 貫徹
撤	テツ	撤去, 撤回, 撤兵
天	テン あめ あま	天地, 天然, 雨天 天 天の川, 天下り
典	テン	典拠, 古典, 式典

* [(付) 第2の3参照]

店	テン みせ	店舗，開店，本店 店，夜店	
点(點)	テン	点線，点火，採点	
展	テン	展示，展開，発展	
添	テン そえる そう	添加，添付，添削 添える，添え手紙 添う，付き添う	⇔ 沿う
転(轉)	テン ころがる ころげる ころがす ころぶ	転出，回転，運転 転がる 転げる 転がす 転ぶ	
填	テン	装填，補填	* [(付) 第2の3参照]
田	デン た	田地，水田，油田 田，田植え	田舎 (いなか)
伝(傳)	デン つたわる つたえる つたう	伝言，伝統，宣伝 伝わる 伝える，言い伝え 伝う	伝馬船 (てんません) 手伝 (てつだ) う
殿	デン テン との どの	殿堂，宮殿，貴殿 御殿 殿様，殿方 ○○殿	
電	デン	電気，電報，発電	
斗	ト	斗酒，北斗七星	
吐	ト はく	吐露，吐血，音吐朗々 吐く，吐き気	
妬	ト ねたむ	嫉妬 妬む	
徒	ト	徒歩，徒勞，信徒	

途	ト	途上, 帰途, 前途	
都(都)	ト ツ みやこ	都会, 都心, 首都 都合, 都度 都, 都落ち	
渡	ト わたる わたす	渡航, 渡河, 譲渡 渡る, 渡り 渡す, 渡し	
塗	ト ぬる	塗布, 塗装, 塗料 塗る, 塗り	
賭	ト かける	賭場, 賭博 賭ける, 賭け	* [(付) 第2の3参照] ⇔ 掛ける, 懸ける, 架ける
土	ド ト つち	土木, 国土, 粘土 土地 土, 赤土	土産 (みやげ)
奴	ド	奴隷, 守銭奴	
努	ド つとめる	努力 努める, 努めて [副]	⇔ 勤める, 務める
度	ド ト タク たび	度胸, 制度, 限度 法度 支度 度, 度重なる, この度	
怒	ド いかる おこる	怒号, 怒気, 激怒 怒る, 怒り, 怒り狂う 怒る	
刀	トウ かたな	刀剣, 短刀, 名刀 刀	太刀 (たち) 竹刀 (しな)
冬	トウ ふゆ	冬季, 冬至, 越冬 冬, 冬枯れ	
灯(燈)	トウ ひ	灯火, 電灯, 点灯 灯	⇔ 火

当(當)	トウ あたる あてる	当惑, 当然, 妥当 当たる, 当たり 当てる, 当て	⇨ 宛てる, 充てる
投	トウ なげる	投資, 投下, 暴投 投げる, 身投げ	投網 (とあみ)
豆	トウ ズ まめ	豆腐, 納豆 大豆 豆, 豆粒, 煮豆	小豆 (あずき)
東	トウ ひがし	東西, 東国, 以東 東, 東側	
到	トウ	到着, 到底, 周到	
逃	トウ にげる にがす のがす のがれる	逃走, 逃亡, 逃避 逃げる, 夜逃げ 逃がす 逃す, 見逃す 逃れる, 一時逃れ	
倒	トウ たおれる たおす	倒産, 圧倒, 傾倒 倒れる, 共倒れ 倒す	
凍	トウ こおる こごえる	凍結, 凍死, 冷凍 凍る, 凍り付く 凍える, 凍え死に	
唐	トウ から	唐本, 唐突 唐織, 唐草模様	
島	トウ しま	島民, 半島, 列島 島, 島国, 離れ島	
桃	トウ もも	桃源郷, 白桃, 桜桃 桃, 桃色	
討	トウ うつ	討伐, 討論, 検討 討つ, 敵討ち	⇨ 打つ, 撃つ

トウ

透	トウ すく すかす すける	透写, 透明, 浸透 透く 透かす, 透かし 透ける	
党(黨)	トウ	党派, 政党, 徒党	
悼	トウ いたむ	悼辞, 哀悼, 追悼 悼む	⇨ 痛む, 傷む
盗(盜)	トウ ぬすむ	盗難, 盗用, 強盗 盗む, 盗み	
陶	トウ	陶器, 陶醉, 薰陶	
塔	トウ	五重の塔, 石塔	
搭	トウ	搭載, 搭乘, 搭乘券	
棟	トウ むね むな	上棟, 病棟 棟, 別棟 棟木	
湯	トウ ゆ	湯治, 熱湯, 微温湯 湯, 湯水, 煮え湯	
痘	トウ	種痘, 水痘, 天然痘	
登	トウ ト のぼる	登壇, 登校, 登記 登山, 登城 登る, 山登り	⇨ 上る, 昇る
答	トウ こたえる こたえ	答弁, 応答, 問答 答える 答え	⇨ 応える
等	トウ ひとしい	等分, 等級, 平等 等しい	
筒	トウ つつ	封筒, 水筒, 円筒形 筒, 筒抜け	
統	トウ すべる	統一, 統計, 伝統 統べる	

稻(稻)	トウ いね いな	水稻, 陸稻 稻, 稻刈り 稲作, 稲穂	
踏	トウ ふむ ふまえる	踏破, 踏襲, 高踏的 踏む, 足踏み 踏まえる	
糖	トウ	糖分, 砂糖, 製糖	
頭	トウ ズ ト あたま かしら	頭部, 年頭, 船頭 頭脳, 頭上, 頭痛 音頭 頭, 頭金, 頭打ち 頭, 頭文字, 旗頭	
騰	トウ	騰写, 騰本	
藤	トウ ふじ	葛藤 藤, 藤色	
鬪(鬪)	トウ たたかう	鬪争, 鬪志, 戦鬪 鬪う, 鬪い	⇔ 戦う
騰	トウ	騰貴, 暴騰, 沸騰	
同	ドウ おなじ	同情, 異同, 混同 同じ, 同じだ, 同い年	
洞	ドウ ほら	洞穴, 洞察, 空洞 洞穴	
胴	ドウ	胴体, 双胴船	
動	ドウ うごく うごかす	動物, 活動, 騒動 動く, 動き 動かす	
堂	ドウ	堂々と, 殿堂, 母堂	
童	ドウ わらべ	童話, 童心, 児童 童, 童歌	

道	ドウ トウ みち	道路, 道德, 報道 神道 道, 近道	
働	ドウ はたらく	労働, 実働 働く, 働き	
銅	ドウ	銅器, 銅像, 青銅	
導	ドウ みちびく	導入, 指導, 半導体 導く, 導き	
瞳	ドウ ひとみ	瞳孔 瞳	
峠	とうげ	峠, 峠道	
匿	トク	匿名, 隠匿	
特	トク	特殊, 特産, 独特	
得	トク える うる	得意, 会得, 損得 得る 得るところ, 書き得る	⇒ 獲る
督	トク	督促, 督励, 監督	
徳(德)	トク	徳義, 徳用, 道德	
篤	トク	篤農, 危篤, 懇篤	
毒	ドク	毒薬, 毒舌, 中毒	
独(獨)	ドク ひとり	独立, 独断, 单独 独り, 独り者	
読(讀)	ドク トク トウ よむ	読書, 音読, 購読 読本 読点, 句読点 読む, 読み	読経 (どきょう) ⇒ 詠む
栃	とち		栃木県

凸	トツ	凸版, 凸レンズ, 凹凸	凸凹 (でこぼこ)
突(突)	トツ つく	突然, 突端, 衝突 突く, 一突き	
届(届)	とどける とどく	届ける, 届け 届く, 行き届く	
屯	トン	駐屯, 駐屯地	
豚	トン ぶた	養豚 豚, 子豚	
頓	トン	頓着, 整頓	
貪	ドン むさぼる	貪欲 貪る	
鈍	ドン にぶい にぶる	鈍感, 鈍角, 愚鈍 鈍い, 鈍さ 鈍る	
曇	ドン くもる	曇天 曇る, 曇り	
丼	どんぶり どん	丼, 丼飯 牛丼, 天丼	
那	ナ	刹那, 旦那	
奈	ナ	奈落	
内	ナイ ダイ うち	内外, 内容, 家内 内裏, 参内 内, 内側, 内気	
梨	なし	梨	
謎[謎]	なぞ	謎	[謎] = 許容字体, * [(付) 第2の1参照]
鍋	なべ	鍋, 鍋料理	

南	ナン ナ みなみ	南北, 南端, 指南 南無 南, 南向き	
軟	ナン やわらか やわらかい	軟化, 軟弱, 硬軟 軟らかだ 軟らかい	⇨ 柔らか ⇨ 柔らかい
難(難)	ナン かたい むずかしい	難易, 困難, 非難 許し難い, 有り難い 難しい, 難しさ	「むづかしい」とも。
二	ニ ふた ふたつ	二番目, 二分, 十二月 二重まぶた 二つ	十重二十重 (とえはたえ) 二十・二十歳 (はたち) 二十日 (はつか) 二人 (ふたり) 二日 (ふつか) ⇨ 双
尼	ニ あま	尼僧, 修道尼 尼, 尼寺	
弍(貳)	ニ	弍万円	
匂	におう	匂う, 匂い	⇨ 臭う
肉	ニク	肉類, 肉薄, 筋肉	
虹	にじ	虹	
日	ニチ ジツ ひ か	日時, 日光, 毎日 連日, 平日, 休日 日, 日帰り, 月曜日 三日, 十日	明日 (あす) 昨日 (きのう) 今日 (きょう) 一日 (ついたち) 二十日 (はつか) 日和 (ひより) 二日 (ふつか)
入	ニュウ いる いれる はいる	入学, 侵入, 収入 寝入る, 大入り, 気に入る 入れる, 入れ物 入る	⇨ 要る
乳	ニュウ ちち ち	乳児, 乳液, 牛乳 乳 乳首, 乳飲み子	乳母 (うば)

尿	ニョウ	尿意, 尿素, 夜尿症	
任	ニン まかせる まかす	任意, 任務, 責任 任せる, 人任せ 任す	
妊	ニン	妊娠, 懐妊, 不妊	
忍	ニン しのぶ しのばせる	忍者, 忍耐, 残忍 忍ぶ, 忍び足, 忍びやかだ 忍ばせる	
認	ニン みとめる	認識, 承認, 否認 認める	
寧	ネイ	安寧, 丁寧	
熱	ネツ あつい	熱病, 熱湯, 情熱 熱い, 熱さ	⇔ 暑い
年	ネン とし	年代, 少年, 豊年 年, 年子, 年寄り	今年 (ことし)
念	ネン	念願, 信念, 断念	
捻	ネン	捻挫, 捻出	
粘	ネン ねばる	粘土, 粘液, 粘着 粘る, 粘り, 粘り強い	
燃	ネン もえる もやす もす	燃烧, 燃料, 可燃性 燃える, 燃え尽きる 燃やす 燃す	
惱(惱)	ノウ なやむ なやます	惱殺, 苦惱, 煩惱 悩む, 悩み, 悩ましい 悩ます	

納	ノウ ナツ ナ ナン トウ おさめる おさまる	納入, 納涼, 収納 納得, 納豆 納屋 納戸 出納 納める, 御用納め 納まる, 納まり	⇒ 収める ⇒ 収まる
能	ノウ	能力, 芸能, 効能	
脳(腦)	ノウ	脳髓, 首脳, 頭脳	
農	ノウ	農業, 農具, 酪農	
濃	ノウ こい	濃厚, 濃紺, 濃淡 濃い, 濃さ	
把	ハ	把握, 把持, 一把(ワ), 三把(バ), 十把(パ)	「把(ハ)」は, 前に来る音によっ て「ワ」, 「バ」, 「パ」になる。
波	ハ なみ	波浪, 波及, 電波 波, 波立つ, 荒波	波止場(はとば)
派	ハ	派遣, 派生, 流派	
破	ハ やぶる やぶれる	破壊, 破産, 撃破, 破棄 破る, 型破り 破れる, 破れ	⇒ 敗れる
覇(霸)	ハ	覇権, 覇者, 制覇	
馬	バ うま ま	馬車, 競馬, 乗馬 馬, 馬小屋 馬子, 絵馬	伝馬船(てんません)
婆	バ	老婆, 産婆役	
罵	バ ののしる	罵声, 罵倒 罵る	
拝(拜)	ハイ おがむ	拝見, 拝礼, 崇拜 拝む, 拝み倒す	

杯	ハイ さかづき	祝杯, 銀杯, 一杯 杯	
背	ハイ せ せい そむく そむける	背後, 背景, 腹背 背, 背丈, 背中 背, 上背 背く 背ける	
肺	ハイ	肺臓, 肺炎, 肺活量	
俳	ハイ	俳優, 俳句, 俳味	
配	ハイ くばる	配分, 交配, 心配 配る	
排	ハイ	排斥, 排気, 排除	
敗	ハイ やぶれる	敗北, 腐敗, 失敗 敗れる	⇒ 破れる
廃(廢)	ハイ すたれる すたる	廃止, 廃物, 荒廃 廃れる 廃る, はやり廃り	
輩	ハイ	輩出, 同輩, 先輩	
売(賣)	バイ うる うれる	売買, 売品, 商売 売る, 売り出す 売れる, 売れ行き	
倍	バイ	倍率, 倍加, 二倍	
梅(梅)	バイ うめ	梅園, 梅雨, 紅梅 梅, 梅見, 梅酒	梅雨 (つゆ)
培	バイ つちかう	培養, 栽培 培う	
陪	バイ	陪席, 陪食, 陪審	
媒	バイ	媒介, 媒体, 触媒	

買	バイ かう	買取, 売買, 購買 買う, 買い物	
賠	バイ	賠償	
白	ハク ジャク しろ しら しろい	白髪, 紅白, 明白 黒白 白, 白黒, 真っ白 白壁, 白む, 白ける 白い	白髪 (しらが)
伯	ハク	伯仲, 画伯	伯父 (おじ) 伯母 (おば)
拍	ハク ヒョウ	拍手, 拍車, 一拍 拍子	
泊	ハク とまる とめる	宿泊, 停泊, 外泊 泊まる, 泊まり 泊める	⇨ 止まる, 留まる ⇨ 止める, 留める
迫	ハク せまる	迫害, 脅迫, 切迫 迫る	
剥	ハク はがす はぐ はがれる はげる	剥製, 剥奪 剥がす 剥ぐ 剥がれる 剥げる	* [(付) 第2の3参照]
舶	ハク	舶来, 船舶	
博	ハク バク	博識, 博覧, 博士号 博労, 博徒	博士 (はかせ)
薄	ハク うすい うすめる うすまる うすらぐ うすれる	薄情, 薄謝, 軽薄 薄い, 薄着, 品薄 薄める 薄まる 薄らぐ 薄れる	
麦 (麥)	バク むぎ	麦芽, 麦秋, 精麦 麦, 麦粉, 小麦	

漠	バク	漠然，広漠，砂漠	
縛	バク しばる	束縛，捕縛 縛る，金縛り	
爆	バク	爆発，爆弾，原爆	
箱	はこ	箱，箱庭，小箱	
箸	はし	箸	* [(付) 第2の3【賭】参照]
畑	はた はたけ	畑，畑作 畑，畑違い，麦畑	
肌	はだ	肌，肌色，地肌	
八	ハチ や やつ やっつ よう	八月，八方 八重桜 八つ当たり 八つ 八日	八百屋（やおや） 八百長（やおちょう）
鉢	ハチ ハツ	鉢，植木鉢 衣鉢	
発（發）	ハツ ホツ	発明，発射，突発 発作，発端，発起	
髪（髮）	ハツ かみ	頭髮，白髪，整髪 髪，髪結び，日本髪	白髪（しらが）
伐	バツ	伐採，征伐，殺伐	
拔（拔）	バツ ぬく ぬける ぬかす ぬかる	抜群，選抜 抜く，くぎ抜き 抜ける，気抜け 抜かす 抜かる，抜かり	
罰	バツ バチ	罰金，処罰，天罰 罰当たり	
閥	バツ	門閥，財閥，派閥	

反	ハン ホン タン そる そらす	反映, 反対, 違反 謀反 反物 反る, 反り 反らす	
半	ハン なかば	半分, 半面, 大半 半ば	
汜	ハン	汎濫	
犯	ハン おかす	犯罪, 共犯, 侵犯 犯す	⇒ 侵す, 冒す
帆	ハン ほ	帆船, 帆走, 出帆 帆, 帆柱, 帆前船	
汎	ハン	汎用	
伴	ハン バン ともなう	同伴, 随伴 伴奏, 伴食 伴う	
判	ハン バン	判定, 判明, 裁判 A判, 大判	
坂	ハン さか	急坂 坂, 坂道, 下り坂	
阪	ハン	阪神, 京阪	大阪 (おおさか) 府
板	ハン バン いた	乾板, 鉄板 黒板, 掲示板 板, 板前	
版	ハン	版画, 写真版, 出版	
班	ハン	班長, 救護班	
畔	ハン	湖畔	
般	ハン	諸般, 一般, 先般	

販	ハン	販売, 販路, 市販	
斑	ハン	斑点	
飯	ハン めし	御飯, 炊飯, 赤飯 飯, 飯粒, 五目飯	
搬	ハン	搬入, 搬出, 運搬	
煩	ハン ボン わずらう わずらわす	煩雑 煩惱 煩う, 煩い, 煩わしい 煩わす	⇨ 患う
頒	ハン	頒布, 頒価	
範	ハン	範囲, 師範, 模範	
繁(繁)	ハン	繁栄, 繁茂, 繁華街	
藩	ハン	藩主, 廃藩	
晩(晩)	バン	晩夏, 今晚, 早晚	
番	バン	番人, 番組, 順番	
蛮(蠻)	バン	蛮行, 蛮人, 野蛮	
盤	バン	基盤, 円盤, 碁盤	
比	ヒ くらべる	比較, 比例, 無比 比べる, 背比べ	
皮	ヒ かわ	皮膚, 皮相, 樹皮 皮, 毛皮	⇨ 革
妃	ヒ	妃殿下, 王妃	
否	ヒ いな	否定, 適否, 安否 否, 否めない	
批	ヒ	批判, 批評, 批准	

彼	ヒ かれ かの	彼我, 彼岸 彼, 彼ら 彼女	
披	ヒ	披見, 披露, 直披	
肥	ヒ こえる こえ こやす こやし	肥大, 肥料, 施肥 肥える 肥, 下肥 肥やす 肥やし	
非	ヒ	非難, 非常, 是非	
卑(卑)	ヒ いやしい いやしむ いやしめる	卑近, 卑屈, 卑下 卑しい, 卑しさ 卑しむ 卑しめる	
飛	ヒ とぶ とばす	飛行, 飛躍, 雄飛 飛ぶ, 飛び火 飛ばす	⇔ 跳ぶ
疲	ヒ つかれる	疲労, 疲弊 疲れる, 疲れ	
秘(祕)	ヒ ひめる	秘密, 秘書, 神秘 秘める	
被	ヒ こうむる	被服, 被害, 被告 被る	
悲	ヒ かなしい かなしむ	悲喜, 悲劇, 慈悲 悲しい, 悲しがる 悲しむ, 悲しみ	
扉	ヒ とびら	開扉, 門扉 扉	
費	ヒ ついやす ついでる	費用, 消費, 旅費 費やす 費える, 費え	

碑(碑)	ヒ	碑銘, 石碑, 記念碑	
罷	ヒ	罷業, 罷免	
避	ヒ さける	避難, 逃避, 不可避 避ける	
尾	ビ お	尾行, 首尾, 末尾 尾, 尾頭付き, 尾根	尻尾(しっぽ)
眉	ビ ミ まゆ	眉目, 焦眉 眉間 眉毛	
美	ビ うつくしい	美醜, 美術, 賛美 美しい, 美しさ	
備	ビ そなえる そなわる	備考, 守備, 準備 備える, 備え 備わる	⇔ 供える
微	ビ	微細, 微笑, 衰微	
鼻	ビ はな	鼻音, 鼻孔, 耳鼻科 鼻, 鼻血, 小鼻	
膝	ひざ	膝, 膝頭	
肘	ひじ	肘, 肘掛け	
匹	ヒツ ひき	匹敵, 匹夫, 馬匹 数匹	
必	ヒツ かならず	必然, 必死, 必要 必ず, 必ずしも	
泌	ヒツ ヒ	分泌 泌尿器	「分泌」は, 「ブンピ」とも。
筆	ヒツ ふで	筆力, 筆記, 毛筆 筆, 筆先	
姫	ひめ	姫, 姫松	

百	ヒャク	百貨店, 百科全書, 数百	八百屋 (やおや) 八百長 (やおちょう)
氷	ヒョウ こおり ひ	氷点, 冰山, 結氷 氷 氷雨	
表	ヒョウ おもて あらわす あらわれる	表面, 代表, 発表 表, 表門, 裏表 表す 表れる	⇨ 面 ⇨ 現す, 著す ⇨ 現れる
俵	ヒョウ たわら	一俵, 土俵 俵, 米俵	
票	ヒョウ	票決, 投票, 伝票	
評	ヒョウ	評価, 評判, 定評	
漂	ヒョウ ただよう	漂着, 漂白, 漂流 漂う	
標	ヒョウ	標準, 標本, 目標	
苗	ビョウ なえ なわ	種苗, 痘苗 苗, 苗木 苗代	早苗 (さなえ)
秒	ビョウ	秒針, 秒速, 寸秒	
病	ビョウ ヘイ やむ やまい	病気, 病根, 看病 疾病 病む, 病み付き 病	
描	ビョウ えがく かく	描写, 素描, 点描 描く, 描き出す 描く, 絵描き	⇨ 書く
猫	ビョウ ねこ	愛猫 猫	
品	ヒン しな	品評, 作品, 上品 品, 品物, 手品	

浜(濱)	ヒン はま	海浜 浜, 浜辺, 砂浜	
貧	ヒン ビン まずしい	貧富, 貧弱, 清貧 貧乏 貧しい, 貧しさ	
賓(賓)	ヒン	賓客, 主賓, 来賓	
頻(頻)	ヒン	頻度, 頻発, 頻繁	
敏(敏)	ビン	敏速, 機敏, 鋭敏	
瓶(瓶)	ビン	瓶, 瓶詰, 花瓶	
不	フ ブ	不当, 不利, 不賛成 不作法, 不用心	
夫	フ フウ おっと	夫妻, 農夫, 凡夫 夫婦, 工夫 夫	
父	フ ちち	父母, 父兄, 祖父 父, 父親	叔父・伯父(おじ) 父(とう)さん
付	フ つける つく	付与, 交付, 給付 付ける, 名付け 付く, 気付く	⇨ 着ける, 就ける ⇨ 着く, 就く
布	フ ぬの	布陣, 綿布, 分布 布, 布地, 布目	
扶	フ	扶助, 扶養, 扶育	
府	フ	府県, 首府, 政府	
怖	フ こわい	恐怖 怖い, 怖がる	
阜	フ		岐阜県
附	フ	附属, 寄附	

訃	フ	訃報	
負	フ まける まかす おう	負担, 負傷, 勝負 負ける, 負け 負かす 負う, 負い目, 背負う	
赴	フ おもむく	赴任 赴く	
浮	フ うく うかれる うかぶ うかべる	浮沈, 浮力, 浮薄 浮く, 浮き, 浮世絵 浮かれる 浮かぶ 浮かべる	浮気 (うわき) 浮 (うわ) つく
婦	フ	婦人, 夫婦, 主婦	
符	フ	符号, 切符, 音符	
富	フ フウ とむ とみ	富強, 富裕, 貧富 富貴 富む, 富み栄える 富	富山 (とやま) 県 「富貴」は, 「フッキ」とも。
普	フ	普通, 普遍, 普請	
腐	フ くさる くされる くさらす	腐心, 腐敗, 陳腐 腐る 腐れ縁, ふて腐れる 腐らす	
敷	フ しく	敷設 敷く, 敷石, 屋敷	棧敷 (さじき)
膚	フ	皮膚, 完膚	
賦	フ	賦役, 月賦, 天賦	
譜	フ	系譜, 楽譜, 年譜	
侮 (侮)	ブ あなどる	侮辱, 軽侮 侮る, 侮り	

武	ブ ム	武力，武士，文武 武者人形，荒武者	
部	ブ	部分，全部，本部	部屋（へや）
舞	ブ まう まい	舞踏，舞台，鼓舞 舞う，舞い上がる 舞，舞扇	
封	フウ ホウ	封鎖，封書，密封 封建的，素封家	
風	フウ フ かぜ かざ	風力，風俗，強風 風情，中風 風，そよ風 風上，風車	風邪（かぜ）
伏	フク ふせる ふす	伏線，起伏，潜伏 伏せる，うつ伏せ 伏す，伏し拝む	
服	フク	服装，服従，洋服	
副	フク	副業，副作用，正副	
幅	フク はば	幅員，振幅，全幅 幅，横幅	
復	フク	復活，往復，報復	
福(福)	フク	福祉，福德，幸福	
腹	フク はら	腹案，空腹，山腹 腹，腹芸，太っ腹	
複	フク	複数，複雑，重複	
覆	フク おおう くつがえす くつがえる	覆面，転覆 覆う，覆い 覆す 覆る	

払(拂)	フツ はらう	払暁, 払底 払う, 払い, 月払い	
沸	フツ わく わかす	沸騰, 沸点, 煮沸 沸く, 沸き上がる 沸かす, 湯沸かし	⇒ 湧く
仏(佛)	ブツ ほとけ	仏事, 仏像, 念仏 仏, 仏様, 生き仏	
物	ブツ モツ もの	物質, 人物, 動物 食物, 進物, 禁物 物, 物語, 品物	果物 (くだもの)
粉	フン こ こな	粉末, 粉碎, 粉飾 粉, 小麦粉 粉, 粉雪	
紛	フン まぎれる まぎらす まぎらわす まぎらわしい	紛失, 紛争, 内紛 紛れる, 紛れ 紛らす 紛らわす 紛らわしい	
雰	フン	雰囲気	
噴	フン ふく	噴火, 噴出, 噴水 噴く, 噴き出す	⇒ 吹く
墳	フン	墳墓, 古墳	
憤	フン いきどおる	憤慨, 義憤, 発憤 憤る, 憤り	
奮	フン ふるう	奮起, 奮発, 興奮 奮う, 奮い立つ, 奮って [副]	⇒ 震う, 振るう
分	ブン フン ブ わける わかれる わかる わかつ	分解, 自分, 水分 分別, 分銅, 三十分 一分一厘, 五分 分ける, 引き分け 分かれる 分かる 分かつ, 分かち合う	大分 (おおいた) 県 ⇒ 別れる

文	ブン モン ふみ	文学，文化，作文 文字，経文，天文学 恋文	「文字」は，「モジ」とも。
聞	ブン モン きく きこえる	新聞，風聞，見聞 聴聞，前代未聞 聞く，人聞き 聞こえる，聞こえ	⇨ 聴く
丙	ヘイ	丙種，甲乙丙	
平	ヘイ ビョウ たいら ひら	平面，平和，公平 平等 平らな土地，平らげる 平手，平謝り，平たい	
兵	ヘイ ヒョウ	兵器，兵隊，撤兵 兵糧，雑兵	
併(併)	ヘイ あわせる	併合，併用，合併 併せる，併せて〔接〕	⇨ 合わせる
並(竝)	ヘイ なみ ならべる ならぶ ならびに	並行，並列，並立 並の品，並木，足並み 並べる，五目並べ 並ぶ，並び 並びに	
柄	ヘイ がら え	横柄，権柄づく 柄，家柄，身柄 柄	
陞	ヘイ	陞下	
閉	ヘイ とじる とぎす しめる しまる	閉店，閉口，密閉 閉じる，閉じ込める 閉ざす 閉める 閉まる	⇨ 締める ⇨ 締まる
塀(塀)	ヘイ	塀，板塀	
幣	ヘイ	貨幣，紙幣，御幣担ぎ	

弊	ヘイ	弊害, 旧弊, 疲弊	
蔽	ヘイ	隠蔽	* [(付) 第2の3 参照]
餅 [餅] (餅)	ヘイ もち	煎餅 餅屋, 尻餅	[餅] = 許容字体, * [(付) 第2の3 【餌】 参照]
米	ベイ マイ こめ	米作, 米価, 米食 精米, 新米, 白米 米, 米粒	
壁	ヘキ かべ	壁面, 壁画, 岸壁 壁, 壁土, 白壁	
璧	ヘキ	完璧, 双壁	
癖	ヘキ くせ	習癖, 病癖, 潔癖 癖, 口癖	
別	ベツ わかれる	別離, 区別, 特別 別れる, 別れ	⇔ 分かれる
蔑	ベツ さげすむ	蔑視, 輕蔑 蔑む	
片	ヘン かた	紙片, 破片, 断片 片方, 片手, 片一方	
辺 (邊)	ヘン あたり べ	辺境, 周辺, その辺 辺り 海辺, 岸辺	
返	ヘン かえす かえる	返却, 返事, 返礼 返す, 仕返し 返る, 寝返り	⇔ 帰す ⇔ 帰る
変 (變)	ヘン かわる かえる	変化, 異変, 大変 変わる, 変わり種 変える	⇔ 替わる, 代わる, 換わる ⇔ 替える, 代える, 換える
偏	ヘン かたよる	偏向, 偏見, 偏食 偏る, 偏り	

遍	ヘン	遍歴, 普遍, 一遍	
編	ヘン あむ	編集, 編成, 長編 編む, 手編み	
弁 (辨 辯 辯)	ベン	弁償, 花卉, 雄弁	
便	ベン ビン たより	便利, 便法, 簡便 便乗, 郵便, 定期便 便り, 初便り, 花便り	
勉 (勉)	ベン	勉強, 勉学, 勤勉	
歩 (歩)	ホ ブ フ あるく あゆむ	歩道, 徒歩, 進歩 歩合, 日歩 歩 歩く 歩む, 歩み	
保	ホ たもつ	保護, 保存, 担保 保つ	
哺	ホ	哺乳類	
捕	ホ とらえる とられる とる つかまえる つかまる	捕獲, 捕虜, 逮捕 捕らえる 捕られる 捕る, 捕り物 捕まえる 捕まる	⇨ 捉える ⇨ 取る, 採る
補	ホ おぎなう	補欠, 補充, 候補 補う, 補い	
舗	ホ	舗装, 店舗	老舗 (しにせ)
母	ボ はは	母性, 父母, 祖母 母, 母親	乳母 (うば) 叔母・伯母 (おば) 母屋・母家 (おもや) 母 (かあ) さん

募	ボ つのる	募金, 募集, 応募 募る	
墓	ボ はか	墓地, 墓参, 墓穴 墓, 墓参り	
慕	ボ したう	慕情, 敬慕, 思慕 慕う, 慕わしい	
暮	ボ くれる くらす	暮春, 歳暮, 薄暮 暮れる, 暮れ 暮らす, 暮らし	
簿	ボ	簿記, 名簿, 帳簿	
方	ハウ かた	方法, 方角, 地方 お乗りの方, 話し方, 敵方	行方 (ゆくえ)
包	ハウ つつむ	包囲, 包容力, 内包 包む, 包み, 小包	
芳	ハウ かんばしい	芳香, 芳紀, 芳志 芳しい, 芳しさ	
邦	ハウ	邦楽, 本邦, 連邦	
奉	ハウ ブ たてまつる	奉納, 奉仕, 信奉 奉行 奉る	
宝(寶)	ハウ たから	宝石, 国宝, 財宝 宝, 宝船, 子宝	
抱	ハウ だく いだく かかえる	抱負, 抱懐, 介抱 抱く 抱く 抱える, 一抱え	
放	ハウ はなす はなつ はなれる ほうる	放送, 放棄, 追放 放す, 手放す 放つ 放れる 放る	⇒ 離す ⇒ 離れる

法	ハウ ハツ ホツ	法律, 文法, 方法 法度 法主	「法主」は, 「ハウシュ」とも。
泡	ハウ あわ	気泡, 水泡, 発泡 泡, 泡立つ	
胞	ハウ	胞子, 同胞, 細胞	
俸	ハウ	俸給, 年俸, 本俸	
倣	ハウ ならう	模倣 倣う	⇔ 習う
峰	ハウ みね	秀峰, 霊峰, 連峰 峰, 剣が峰	
砲	ハウ	砲撃, 大砲, 鉄砲	
崩	ハウ くずれる くずす	崩壊 崩れる, 山崩れ 崩す	雪崩 (なだれ)
訪	ハウ おとずれる たずねる	訪問, 来訪, 探訪 訪れる, 訪れ 訪ねる	⇔ 尋ねる
報	ハウ むくいる	報酬, 報告, 情報 報いる, 報い	
蜂	ハウ はち	蜂起 蜜蜂	
豊 (豊)	ハウ ゆたか	豊作, 豊満, 豊富 豊かだ	
飽	ハウ あきる あかす	飽和, 飽食 飽きる, 飽き, 見飽きる ……に飽かして	
褒 (褒)	ハウ ほめる	褒章, 褒美, 過褒 褒める	

縫	ホウ ぬう	縫合, 縫製, 裁縫 縫う, 縫い目	
亡	ボウ モウ ない	亡父, 亡命, 存亡 亡者 亡い, 亡き人, 亡くす, 亡くなる	多く文語の「亡き」で使う。 ⇨ 無い
乏	ボウ とぼしい	欠乏, 貧乏, 耐乏 乏しい, 乏しさ	
忙	ボウ いそがしい	忙殺, 多忙, 繁忙 忙しい, 忙しさ	
坊	ボウ ボツ	坊主, 朝寝坊, 赤ん坊 坊ちゃん	
妨	ボウ さまたげる	妨害 妨げる, 妨げ	
忘	ボウ わすれる	忘却, 忘年会, 備忘 忘れる, 物忘れ	
防	ボウ ふせぐ	防備, 堤防, 予防 防ぐ, 防ぎ	
房	ボウ ふさ	独房, 冷房, 僧房 房, 一房, 乳房	
肪	ボウ	脂肪	
某	ボウ	某氏, 某国, 某所	
冒	ボウ おかす	冒険, 冒頭, 感冒 冒す	⇨ 犯す, 侵す
剖	ボウ	解剖	
紡	ボウ つむぐ	紡績, 混紡 紡ぐ	
望	ボウ モウ のぞむ	望郷, 希望, 人望 所望, 大望, 本望 望む, 望み, 望ましい	「大望」は, 「タイボウ」とも。

傍	ボウ かたわら	傍線, 傍聴, 路傍 傍ら	
帽	ボウ	帽子, 脱帽, 無帽	
棒	ボウ	棒グラフ, 棒読み, 鉄棒	
貿	ボウ	貿易	
貌	ボウ	変貌, 美貌	
暴	ボウ バク あばく あばれる	暴言, 横暴, 乱暴 暴露 暴く, 暴き出す 暴れる, 大暴れ	
膨	ボウ ふくらむ ふくれる	膨大 膨らむ, 膨らみ 膨れる, 青膨れ	
謀	ボウ ム はかる	謀略, 無謀, 首謀者 謀反 謀る	⇔ 計る, 量る, 図る
頬	ほお	頬, 頬張る	* [(付) 第2の3参照] 「頬」は, 「ほほ」とも。
北	ホク きた	北進, 北方, 敗北 北, 北風, 北半球	
木	ボク モク き こ	木石, 大木, 土木 木造, 樹木, 材木 木, 並木, 拍子木 木立, 木陰	木綿 (もめん)
朴	ボク	純朴, 素朴	
牧	ボク まき	牧場, 牧師, 遊牧 牧場	
睦	ボク	親睦, 和睦	
僕	ボク	僕, 公僕	

墨(墨)	ボク すみ	筆墨, 白墨, 遺墨 墨, 墨絵, 眉墨	
撲	ボク	撲殺, 撲滅, 打撲	相撲(すもう)
没	ボツ	没収, 没交渉, 出沒	
勃	ボツ	勃興, 勃発	
堀	ほり	堀, 外堀, 釣堀	
本	ホン もと	本質, 本来, 資本 本, 旗本	⇨ 下, 元, 基
奔	ホン	奔走, 奔放, 出奔	
翻(翻)	ホン ひるがえる ひるがえす	翻意, 翻訳, 翻刻 翻る 翻す	
凡	ボン ハン	凡人, 凡百, 平凡 凡例	
盆	ボン	盆栽, 盆地, 旧盆	
麻	マ あさ	麻葉, 麻醉, 亜麻 麻	
摩	マ	摩擦, 摩天楼	
磨	マ みがく	研磨 磨く, 磨き粉	
魔	マ	魔法, 悪魔, 邪魔	
每(毎)	マイ	毎度, 毎日, 毎々	
妹	マイ いもうと	姉妹, 義妹, 令妹 妹	
枚	マイ	枚数, 枚挙, 大枚	
昧	マイ	曖昧, 三昧	

埋	マイ うめる うまる うもれる	埋没, 埋蔵, 埋葬 埋める, 埋め立て, 穴埋め 埋まる 埋もれる, 埋もれ木	
幕	マク バク	幕切れ, 天幕, 暗幕 幕府, 幕末, 幕僚	
膜	マク	膜質, 鼓膜, 粘膜	
枕	まくら	枕, 枕元	
又	また	又, 又は	
末	マツ バツ すえ	末代, 本末, 粉末 末子, 末弟 末, 末っ子, 末頼もしい	「末子」, 「末弟」は, 「マッシ」, 「マッテイ」とも。
抹	マツ	抹殺, 抹消, 一抹	
万(萬)	マン バン	万一, 万年筆, 巨万 万国, 万端, 万全	
満(滿)	マン みちる みたす	満月, 満足, 充満 満ちる, 満ち潮 満たす	
慢	マン	慢性, 怠慢, 自慢	
漫	マン	漫画, 漫步, 散漫	
未	ミ	未来, 未満, 前代未聞	
味	ミ あじ あじわう	味覚, 意味, 興味 味, 味見, 塩味 味わう, 味わい	三味線 (しゃみせん)
魅	ミ	魅力, 魅惑, 魅する	
岬	みさき	岬	
密	ミツ	密約, 厳密, 秘密	

蜜	ミツ	蜜, 蜜月	
脈	ミヤク	脈絡, 動脈, 山脈	
妙	ミヨウ	妙案, 奇妙, 巧妙	
民	ミン たみ	民族, 民主的, 国民 民	
眠	ミン ねむる ねむい	不眠, 安眠, 睡眠 眠る, 眠り 眠い, 眠たい, 眠気	
矛	ム ほこ	矛盾 矛, 矛先	
務	ム つとめる つとまる	事務, 職務, 義務 務める, 務め 務まる	⇨ 勤める, 努める ⇨ 勤まる
無	ム ブ ない	無名, 無理, 皆無 無事, 無礼, 無愛想 無い, 無くす, 無くなる	⇨ 亡い
夢	ム ゆめ	夢幻, 夢中, 悪夢 夢, 夢見る, 初夢	
霧	ム きり	霧笛, 濃霧, 噴霧器 霧, 霧雨, 朝霧	
娘	むすめ	娘, 娘心, 小娘	
名	メイ ミヨウ な	名誉, 氏名, 有名 名字, 本名, 大名 名, 名前	仮名 (かな) 名残 (なごり)
命	メイ ミヨウ いのち	命令, 運命, 生命 寿命 命, 命拾い	

明	メイ ミョウ あかり あかるい あかるむ あからむ あきらか あける あく あくる あかす	明暗，説明，鮮明 明日，光明，灯明 明かり，薄明かり 明るい，明るさ 明るむ 明らむ 明らかだ 明ける，夜明け 明る 明るる日，明るる朝 明かす，種明かし	明日（あす） ⇨ 開ける，空ける ⇨ 開く，空く
迷	メイ まよう	迷路，迷惑，低迷 迷う，迷い	迷子（まいご）
冥	メイ ミョウ	冥福 冥加，冥利	
盟	メイ	加盟，同盟，連盟	
銘	メイ	銘柄，碑銘	
鳴	メイ なく なる ならす	鳴動，悲鳴，雷鳴 鳴く，鳴き声 鳴る，耳鳴り 鳴らす	
滅	メツ ほろびる ほろぼす	滅亡，消滅，絶滅 滅びる 滅ぼす	
免（免）	メン まぬかれる	免許，免除，放免 免れる	「まぬがれる」とも。
面	メン おも おもて つら	面会，顔面，方面 川の面，面影，面長 面，細面 面，面魂，鼻面	真面目（まじめ） ⇨ 表
綿	メン わた	綿布，綿密，純綿 綿，真綿	木綿（もめん）
麵（麵）	メン	麵類	

茂	モ しげる	繁茂 茂る, 茂み	
模	モ ボ	模範, 模型, 模倣 規模	
毛	モウ け	毛髪, 毛細管, 不毛 毛, 毛糸, 抜け毛	
妄	モウ ボウ	妄信, 妄想, 迷妄 妄言	「妄言」は, 「モウゲン」とも。
盲	モウ	盲点, 盲従, 文盲	
耗	モウ コウ	消耗 心神耗弱	「モウ」は, 慣用音。
猛	モウ	猛烈, 猛獣, 勇猛	猛者 (もさ)
網	モウ あみ	網膜, 漁網, 通信網 網, 網戸	投網 (とあみ)
目	モク ボク め ま	目的, 目前, 項目 面目 目, 目立つ, 結び目 目の当たり, 目深	「面目」は, 「メンモク」とも。 真面目 (まじめ)
黙 (黙)	モク だまる	黙殺, 暗黙, 沈黙 黙る, 黙り込む	
門	モン かど	門戸, 門下生, 専門 門, 門口, 門松	
紋	モン	紋章, 指紋, 波紋	
問	モン とう とい とん	問題, 問答, 訪問 問う, 問いただす 問い 問屋	「問屋」は, 「といや」とも。
冶	ヤ	冶金, 陶冶	鍛冶 (かじ)

夜	ヤ よ よる	夜半，深夜，昼夜 夜が明ける，夜風，月夜 夜，夜昼	
野	ヤ の	野外，野性，分野 野，野原，野放し	野良（のら）
弥（彌）	や		弥生（やよい）
厄	ヤク	厄，厄年，災厄	
役	ヤク エキ	役所，役目，荷役 役務，使役，兵役	
約	ヤク	約束，約半分，節約	
訳（譯）	ヤク わけ	訳文，翻訳，通訳 訳，内訳，申し訳	
薬（藥）	ヤク くすり	薬剤，薬局，火薬 薬，飲み薬	
躍	ヤク おどる	躍動，躍起，飛躍 躍る，躍り上がる	⇔ 踊る
闇	やみ	闇夜，暗闇	
由	ユ ユウ ユイ よし	由来，經由 自由，理由，事由 由緒 ……の由	
油	ユ あぶら	油脂，油田，石油 油，油絵，水油	⇔ 脂
喩	ユ	比喩	* [(付) 第2の3参照]
愉	ユ	愉快，愉悦	
諭	ユ さとす	諭旨，教諭，説諭 諭す，諭し	
輸	ユ	輸出，輸送，運輸	

癒	ユ いえる いやす	癒着, 治癒, 平癒 癒える 癒やす	
唯	ユイ イ	唯一, 唯物論, 唯美主義 唯々諾々	
友	ユウ とも	友好, 友情, 親友 友	友達 (ともだち)
有	ユウ ウ ある	有益, 所有, 特有 有無, 有象無象 有る, 有り金	⇒ 在る
勇	ユウ いさむ	勇敢, 勇気, 武勇 勇む, 勇み足, 勇ましい	
幽	ユウ	幽境, 幽玄, 幽霊	
悠	ユウ	悠然, 悠長, 悠々	
郵	ユウ	郵便, 郵送, 郵券	
湧	ユウ わく	湧水, 湧出 湧く	⇒ 沸く
猶	ユウ	猶予	
裕	ユウ	裕福, 富裕, 余裕	
遊	ユウ ユ あそぶ	遊戯, 遊離, 交遊 遊山 遊ぶ, 遊び	
雄	ユウ お おす	雄大, 英雄, 雌雄 雄しべ, 雄牛, 雄々しい 雄, 雄犬	
誘	ユウ さそう	誘惑, 誘発, 勧誘 誘う, 誘い水	

憂	ユウ うれえる うれい うい	憂愁, 憂慮, 一喜一憂 憂える, 憂え 憂い 憂い, 憂き目, 物憂い	⇨ 愁える ⇨ 愁い 「憂き」は, 文語の連体形。
融	ユウ	融解, 融和, 金融	
優	ユウ やさしい すぐれる	優越, 優柔, 俳優 優しい, 優しさ 優れる	
与(與)	ヨ あたえる	与党, 授与, 関与 与える	
予(豫)	ヨ	予定, 予備, 猶予	
余(餘)	ヨ あまる あます	余剰, 余地, 残余 余る, 余り 余す	
誉(譽)	ヨ ほまれ	名誉, 栄誉 誉れ	
預	ヨ あずける あずかる	預金, 預託 預ける 預かる, 預かり	
幼	ヨウ おさない	幼児, 幼虫, 幼稚 幼い, 幼友達	
用	ヨウ もちいる	用意, 使用, 費用 用いる	
羊	ヨウ ひつじ	羊毛, 綿羊, 牧羊 羊	
妖	ヨウ あやしい	妖怪, 妖艶 妖しい	⇨ 怪しい
洋	ヨウ	洋楽, 洋風, 海洋	
要	ヨウ かなめ いる	要点, 要注意, 重要 要 要る	⇨ 入る

容	ヨウ	容易, 容器, 形容	
庸	ヨウ	凡庸, 中庸	
揚	ヨウ あげる あがる	意気揚々, 抑揚, 掲揚 揚げる, 荷揚げ 揚がる	⇨ 上げる, 挙げる ⇨ 上がる, 挙がる
揺(搖)	ヨウ ゆれる ゆる ゆらぐ ゆるぐ ゆする ゆさぶる ゆすぶる	動揺 揺れる, 揺れ 揺り返し, 揺り籠 揺らぐ 揺るぐ, 揺るぎない 揺する, 貧乏揺すり 揺さぶる 揺すぶる	
葉	ヨウ は	葉緑素, 落葉, 紅葉 葉, 枯れ葉, 落ち葉	紅葉 (もみじ)
陽	ヨウ	陽光, 陰陽, 太陽	
溶	ヨウ とける とかす とく	溶解, 溶液, 水溶液 溶ける 溶かす 溶く	⇨ 解ける ⇨ 解かす ⇨ 解く
腰	ヨウ こし	腰痛, 腰部 腰, 腰だめ, 物腰	
様(樣)	ヨウ さま	様式, 様子, 模様 様, ○○様	
瘍	ヨウ	潰瘍, 腫瘍	
踊	ヨウ おどる おどり	舞踊 踊る 踊り	⇨ 躍る
窯	ヨウ かま	窯業 窯	

養	ヨウ やしなう	養育, 養子, 休養 養う	
擁	ヨウ	擁護, 擁立, 抱擁	
謡(謠)	ヨウ うたい うたう	謡曲, 民謡, 歌謡 謡, 素謡 謡う	⇔ 歌う
曜	ヨウ	曜日, 七曜表, 日曜	
抑	ヨク おさえる	抑圧, 抑制, 抑揚 抑える, 抑え	⇔ 押さえる
沃	ヨク	肥沃	
浴	ヨク あびる あびせる	浴場, 海水浴 浴びる, 水浴び 浴びせる	浴衣(ゆかた)
欲	ヨク ほっする ほしい	欲望, 食欲, 無欲 欲する 欲しい, 欲しがる	
翌	ヨク	翌春, 翌年, 翌々日	
翼	ヨク つばさ	左翼, 尾翼 翼	
拉	ラ	拉致	
裸	ラ はだか	裸身, 裸体, 赤裸々 裸, 丸裸	
羅	ラ	羅列, 羅針盤, 網羅	
来(來)	ライ くる きたる きたす	来年, 来歴, 往来 来る, 出来心 来る○日 来す	
雷	ライ かみなり	雷雨, 雷名, 魚雷 雷	

頼(頼)	ライ たのむ たのもしい たよる	依頼, 信頼, 無頼漢 頼む, 頼み 頼もしい 頼る, 頼り	
絡	ラク からむ からまる からめる	連絡, 脈絡 絡む, 絡み付く 絡まる 絡める	
落	ラク おちる おとす	落語, 落涙, 集落 落ちる, 落ち着く 落とす, 力落とし	
酪	ラク	酪農	
辣	ラツ	辣腕, 辛辣	
乱(亂)	ラン みだれる みだす	乱戦, 混乱, 反乱 乱れる, 乱れ 乱す	
卵	ラン たまご	卵黄, 鶏卵, 産卵 卵	
覧(覽)	ラン	観覧, 展覧, 一覽	
濫	ラン	濫伐, 濫費, 濫用	
藍	ラン あい	出藍 藍色, 藍染め	
欄(欄)	ラン	欄干, 欄外, 空欄	
吏	リ	吏員, 官吏, 能吏	
利	リ きく	利益, 銳利, 勝利 利く, 左利き, 口利き	砂利(じゃり) ⇔ 効く
里	リ さと	里程, 郷里, 千里眼 里, 里心, 村里	
理	リ	理科, 理由, 整理	

痢	リ	疫痢，下痢，赤痢	
裏	リ うら	裏面，表裏 裏，裏口	
履	リ はく	履歴，履行，弊履 履く，履物	草履（ぞうり）
璃	リ	浄瑠璃	
離	リ はなれる はなす	離別，距離，分離 離れる，離れ，乳離れ 離す	⇨ 放れる ⇨ 放す
陸	リク	陸地，陸橋，着陸	
立	リツ リュウ たつ たてる	立案，起立，独立 建立 立つ，立場，夕立 立てる，立て札	立ち退く（たちのく） ⇨ 建つ ⇨ 建てる
律	リツ リチ	律動，規律，法律 律儀	
慄	リツ	慄然，戦慄	
略	リャク	略称，計略，侵略	
柳	リュウ やなぎ	花柳界，川柳 柳，柳腰	
流	リュウ ル ながれる ながす	流行，流動，電流 流布，流転，流罪 流れる，流れ 流す，流し	
留	リュウ ル とめる とまる	留意，留学，保留 留守 留める，帯留め 留まる，歩留まり	⇨ 止める，泊める ⇨ 止まる，泊まる
竜（龍）	リュウ たつ	竜，竜頭蛇尾 竜巻	

粒	リュウ つぶ	粒子, 粒々辛苦 粒, 豆粒	
隆(隆)	リュウ	隆起, 隆盛, 興隆	
硫	リュウ	硫安, 硫酸, 硫化銀	硫黄 (いおう)
侶	リョ	僧侶, 伴侶	
旅	リョ たび	旅行, 旅情, 旅券 旅, 旅先, 船旅	
虜(虜)	リョ	虜囚, 捕虜	
慮	リョ	遠慮, 考慮, 無慮	
了	リョウ	了解, 完了, 校了	
両(兩)	リョウ	両親, 両立, 千両	
良	リョウ よい	良好, 良心, 優良 良い	野良 (のら) 奈良 (なら) 県 ⇔ 善い
料	リョウ	料金, 料理, 材料	
涼	リョウ すずしい すずむ	涼味, 清涼剤, 納涼 涼しい, 涼しさ 涼む, 夕涼み	
獵(獵)	リョウ	獵師, 狩獵, 涉獵	
陵	リョウ みささぎ	陵墓, 丘陵 陵	
量	リョウ はかる	量産, 測量, 度量 量る	⇔ 計る, 測る, 図る, 謀る
僚	リョウ	僚友, 官僚, 同僚	
領	リョウ	領土, 要領, 大統領	
寮	リョウ	寮生, 寮母, 独身寮	

療	リョウ	療養, 医療, 治療
瞭	リョウ	明瞭
糧	リョウ ロウ かて	糧食, 糧道 兵糧 糧
力	リョク リキ ちから	権力, 努力, 能力 力量, 力作, 馬力 力, 力仕事, 底力
緑(緑)	リョク ロク みどり	緑茶, 緑陰, 新緑 緑青 緑, 薄緑
林	リン はやし	林業, 林立, 山林 林, 松林
厘	リン	一分一厘
倫	リン	倫理, 人倫, 絶倫
輪	リン わ	輪番, 一輪, 車輪 輪, 輪切り, 首輪
隣	リン となる となり	隣室, 隣接, 近隣 隣り合う 隣, 両隣
臨	リン のぞむ	臨時, 臨床, 君臨 臨む
瑠	ル	浄瑠璃
涙(涙)	ルイ なみだ	感涙, 声涙, 落涙 涙, 涙ぐむ, 涙ぐましい
累	ルイ	累計, 累積, 係累
塁(壘)	ルイ	塁審, 敵塁, 土塁
類(類)	ルイ たぐい	類型, 種類, 分類 類い, ○○の類い

レイ

令	レイ	令嬢, 法令, 命令
礼(禮)	レイ ライ	礼儀, 謝礼, 無礼 礼賛, 礼拝
冷	レイ つめたい ひえる ひや ひやす ひやかす さめる さます	冷却, 冷淡, 寒冷 冷たい, 冷たさ 冷える, 底冷え 冷や, 冷や汗, 冷ややかだ 冷やす 冷やかす, 冷やかし 冷める 冷ます, 湯冷まし
励(勵)	レイ はげむ はげます	励行, 奨励, 精励 励む, 励み 励ます, 励まし
戻(戻)	レイ もどす もどる	戻入, 返戻 戻す, 差し戻し 戻る, 後戻り
例	レイ たとえる	例外, 例年, 用例 例える, 例え, 例え
鈴	レイ リン すず	電鈴, 振鈴, 予鈴 風鈴, 呼び鈴 鈴
零	レイ	零下, 零細, 零落
霊(靈)	レイ リョウ たま	靈感, 靈魂, 霊長類 悪霊, 死霊 霊, 霊屋
隸	レイ	隸書, 隸属, 奴隸
齡(齡)	レイ	樹齡, 年齢, 妙齡
麗	レイ うるわしい	麗人, 端麗, 美麗 麗しい, 麗しさ

「礼拝」は、「レイハイ」とも。

曆(曆)	レキ こよみ	曆年, 還曆, 太陽曆 曆, 花曆	
歴(歴)	レキ	歴史, 歴訪, 経歴	
列	レツ	列外, 列車, 陳列	
劣	レツ おとる	劣等, 卑劣, 優劣 劣る	
烈	レツ	烈火, 壮烈, 猛烈	
裂	レツ さく さける	決裂, 破裂, 分裂 裂く, 八つ裂き 裂ける, 裂け目	⇒ 割く
恋(戀)	レン こう こい こいしい	恋愛, 恋慕, 失恋 恋い慕う, 恋い焦がれる 恋, 初恋, 恋する 恋しい, 恋しがる	
連	レン つらなる つらねる つれる	連合, 連続, 関連 連なる 連ねる 連れる, 連れ	
廉	レン	廉価, 清廉, 破廉恥	
練(練)	レン ねる	練習, 試練, 熟練 練る, 練り直す	
錬(錬)	レン	錬金術, 鍛錬, 精錬	
呂	ロ	風呂	
炉(爐)	ロ	炉辺, 暖炉, 原子炉	
賂	ロ	賄賂	
路	ロ じ	路上, 道路 家路, 旅路, 山路	

露	ロ ロウ つゆ	露出, 露店, 雨露 披露 露, 夜露	
老	ロウ おいる ふける	老巧, 老人, 長老 老いる, 老い 老ける, 老け役	老舗 (しにせ)
劳(勞)	ロウ	労働, 劳力, 疲労	
弄	ロウ もてあそぶ	愚弄, 翻弄 弄ぶ	
郎(郎)	ロウ	新郎	
朗(朗)	ロウ ほがらか	朗読, 朗々と, 明朗 朗らかだ, 朗らかさ	
浪	ロウ	浪費, 波浪, 放浪	
廊(廊)	ロウ	廊下, 回廊, 画廊	
楼(樓)	ロウ	楼阁, 鐘楼, 望楼	
漏	ロウ もる もれる もらす	漏電, 疎漏, 脱漏 漏る, 雨漏り 漏れる 漏らす	
籠	ロウ かご こもる	籠城 籠 籠もる	
六	ロク む むつ むつつ むい	六月, 六法, 丈六 六月目 六つ切り 六つ 六日	
録(録)	ロク	録音, 記録, 実録	
麓	ロク ふもと	山麓 麓	

論	ロン	論証, 論理, 議論	
和	ワ オ やわらぐ やわらげる なごむ なごやか	和解, 和服, 柔和 和尚 和らぐ 和らげる 和む 和やかだ	日和 (ひより) 大和 (やまと)
話	ワ はなす はなし	話題, 会話, 童話 話す, 話し合い 話, 昔話, 立ち話	
賄	ワイ まかなう	収賄, 贈賄 賄う, 賄い	
脇	わき	脇腹, 両脇	
惑	ワク まどう	惑星, 迷惑, 誘惑 惑う, 惑い	
枠	わく	枠, 枠内, 窓枠	
湾 (灣)	ワン	湾内, 湾入, 港湾	
腕	ワン うで	腕章, 腕力, 敏腕 腕, 腕前, 細腕	

付 表

※以下に挙げられている語を構成要素の一部とする熟語に用いてもかまわない。

例「河岸（かし）」→「魚河岸（うおがし）」
 「居士（こじ）」→「一言居士（いちげんこじ）」

あす	明日	かわせ	為替
あずき	小豆	かわら	{ 河原 川原
あま	{ 海女 海士	きのう	昨日
いおう	硫黄	きょう	今日
いくじ	意気地	くだもの	果物
いなか	田舎	くろうと	玄人
いぶき	息吹	けさ	今朝
うなばら	海原	けしき	景色
うば	乳母	ここち	心地
うわき	浮気	こじ	居士
うわつく	浮つく	ことし	今年
えがお	笑顔	さおとめ	早乙女
おじ	{ 叔父 伯父	ざこ	雑魚
おとな	大人	さじき	栈敷
おとめ	乙女	さしつかえる	差し支える
おば	{ 叔母 伯母	さつき	五月
おまわりさん	お巡りさん	さなえ	早苗
おみき	お神酒	さみだれ	五月雨
おもや	{ 母屋 母家	しぐれ	時雨
かあさん	母さん	しっぽ	尻尾
かぐら	神楽	しない	竹刀
かし	河岸	しにせ	老舗
かじ	鍛冶	しばふ	芝生
かぜ	風邪	しみず	清水
かたず	固唾	しゃみせん	三味線
かな	仮名	じゃり	砂利
かや	蚊帳	じゅず	数珠

じょうず	上手	のりと	祝詞
しらが	白髪	はかせ	博士
しろうと	素人	はたち	{ 二十 二十歳
しわす (「しはす」とも言う。)	師走	はつか	二十日
すきや	{ 数寄屋 数奇屋	はとば	波止場
すもう	相撲	ひとり	一人
ぞうり	草履	ひより	日和
だし	山車	ふたり	二人
たち	太刀	ふつか	二日
たちのく	立ち退く	ふぶき	吹雪
たなばた	七夕	へた	下手
たび	足袋	へや	部屋
ちご	稚児	まいご	迷子
ついたち	一日	まじめ	真面目
つきやま	築山	まっか	真っ赤
つゆ	梅雨	まっさお	真っ青
でこぼこ	凸凹	みやげ	土産
てつだう	手伝う	むすこ	息子
てんません	伝馬船	めがね	眼鏡
とあみ	投網	もさ	猛者
とうさん	父さん	もみじ	紅葉
とえはたえ	十重二十重	もめん	木綿
どきょう	読経	もより	最寄り
とけい	時計	やおちょう	八百長
ともだち	友達	やおや	八百屋
なこうど	仲人	やまと	大和
なごり	名残	やよい	弥生
なだれ	雪崩	ゆかた	浴衣
にいさん	兄さん	ゆくえ	行方
ねえさん	姉さん	よせ	寄席
のら	野良	わこうど	若人

